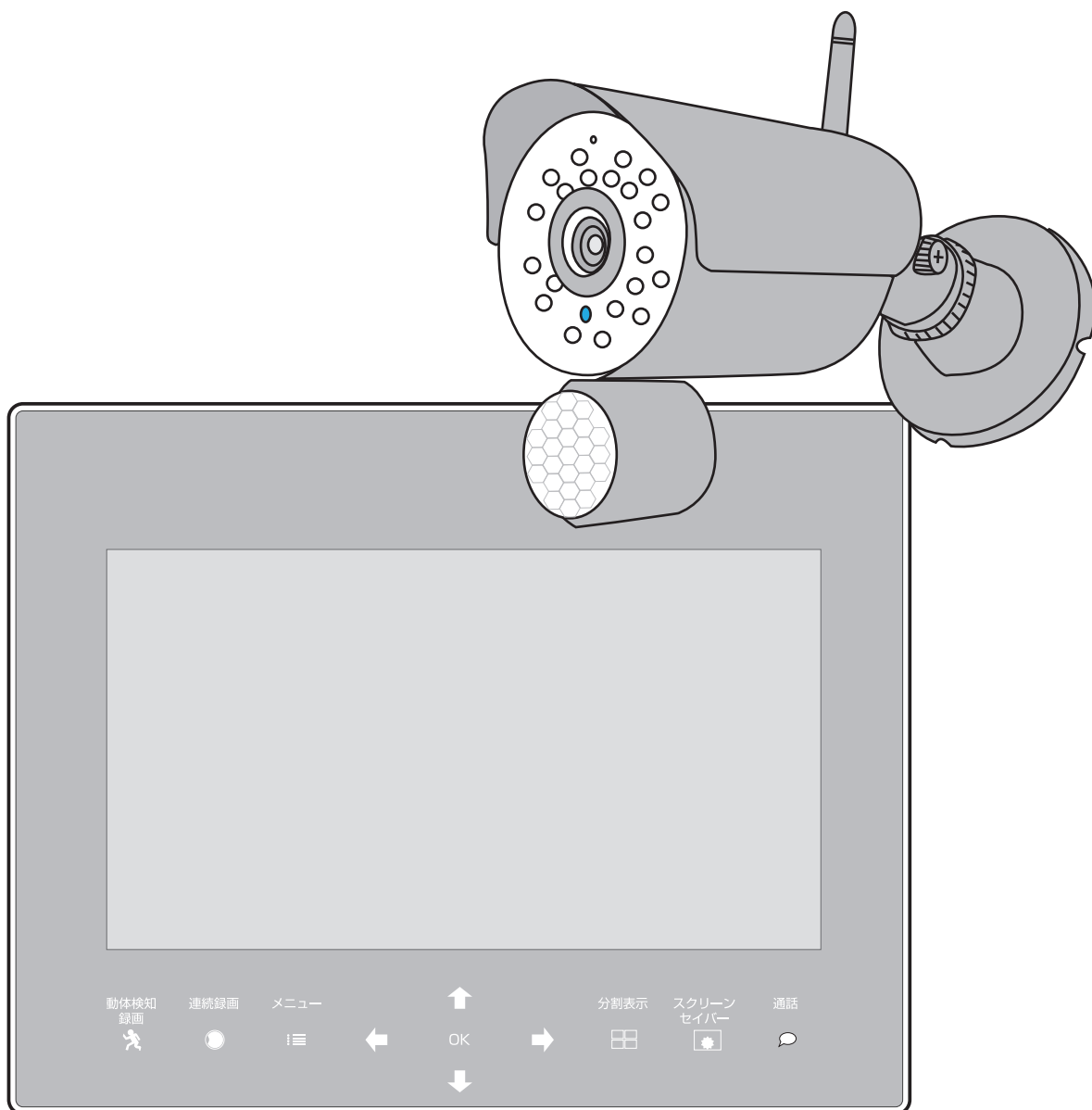


# アイキャン らくらくeye cann



NS-9015WMS

取扱説明書（保証書付）

はじめに.....	iii
センサー反応範囲について.....	iv
<b>I. 必ずお読みください</b> .....	<b>1</b>
<b>II. 各部の名称・機能</b> .....	<b>8</b>
1. パネルについて.....	8
2. アイコンボタンの機能.....	9
3. 画面上のアイコンについて.....	10
4. モニター背面の機能①②.....	11
5. カメラについて.....	13
<b>III. セットアップ</b> .....	<b>14</b>
1. 初めに行ってください.....	14
1-①モニターにアンテナをつける.....	15
1-②カメラにアンテナをつける.....	16
1-③SDカードを挿入する.....	17
1-④モニターとACアダプターを接続する.....	18
1-⑤カメラとACアダプターを接続する.....	19
1-⑥モニターの電源を入れ、映像を確認する.....	20
1-⑦ペアリングをする.....	20
1-⑧日時設定をする.....	21
1-⑨カメラを取り付ける  その1：設置場所を決める.....	21
1-⑩カメラを取り付ける  その2：配線・角度調整.....	22



<b>IV パネル基本操作</b> .....	23
1. 動体検知録画 .....	24
2. 連続録画 .....	25
3. メニュー .....	26
3-1. 設定 .....	
3-1-1. 日時設定 .....	26
3-1-2. 初期化 .....	27
3-1-3. フォーマット .....	28
3-1-4. フリッカー .....	29
3-1-5. ファームウェアアップグレード .....	30
3-2. 動体検知 .....	32
3-3. 警報 .....	33
3-4. 録画 .....	34
3-4-1. モーション録画時間 .....	34
3-4-2. スケジュール録画 .....	35
3-4-3. 上書録画 .....	43
3-5. カメラ .....	44
3-5-1. ペアリング .....	44
3-5-2. カメラ表示 .....	46
3-5-3. 明るさ .....	47
3-5-4. 解像度 .....	48
4. OK (再生する) .....	50
パソコンで再生する .....	53
5. 分割表示 .....	54
6. スクリーンセーバー .....	55
7. 通話 .....	56
<b>トラブルシューティング</b> .....	57

<b>録画する</b>		
手動で録画	ずーっと録画 ..... 上書き録画 .....	25
	センサーで録画 .... 動体検知録画 .....	24
設定で録画	曜日・時間指定録画 .....	35
	センサーで録画 .... 動体検知録画 .....	24

このたびは、NS-9015WMS をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
なお、お読みになった後はいつでもご覧いただけますよう、大切に保管してください。

< ご注意ください >

### ■カメラを増設される場合

- ・カメラ台数に反比例してSDカードの録画保存時間は減少します。  
→カメラ 1 台の接続とカメラ 4 台の接続では録画保存時間が約 1/4 になります。
- ・本製品はワイヤレスで通信をおこなっているため、特性上、カメラ台数が増えるほど個々のカメラの表示フレーム数が減少します。  
→カメラ台数が増えれば増えるほどとライブ映像がコマ落ち（カクカクとした映像）します。

### ■ワイヤレス電波について

- ・電波の最大到達距離は、オープン（障害物がない場合）で 150m、障害物（金属製のドア、鉄骨、土壁など）のない木造建物の場合で約 20 ～ 40mです。特に設置後は映像が映っても、将来においてカメラ周辺の電波環境が変化した場合は、電波到達距離が短くなりカメラ映像が映らなくなる場合があります。この場合は、カメラの位置を変更するかオプションのカメラアンテナ用ケーブルを使用して電波到達距離が長くなる経路をお試してください。
- ・電子レンジなど高周波を発信する機器や、まれにWi-Fi通信機器との電波干渉がおこる場合があります。その場合は、原因となる機器から離して設置してください。
- ・夜間の暗視映像は、夜間ノイズの影響で画質が低下します。


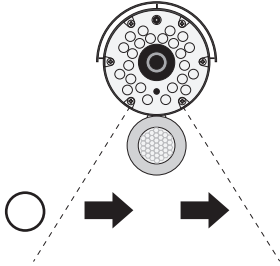
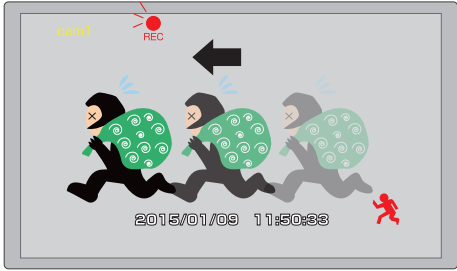

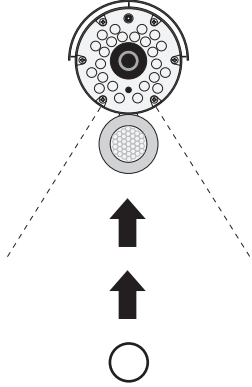
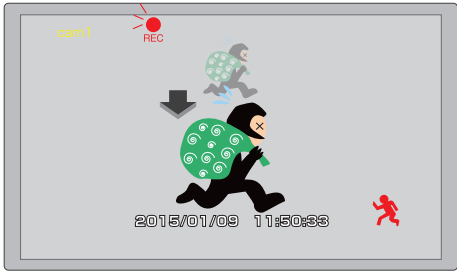

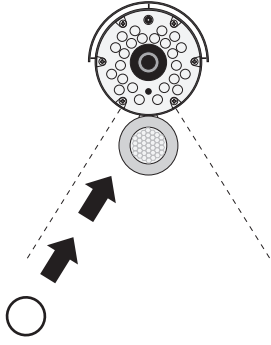
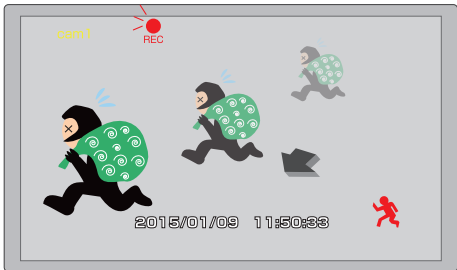
### ■人感（熱感）センサーについて

- ・人感（熱感）センサーの感知距離は、2 ～ 5m です。人感（熱感）センサーはセンサーの特性上、カメラの周囲温度（外気温）、天候により感知距離が変わります。（夏季や雨天の場合は感知距離が短くなります。）夜間や夏季や雨天の際に、人感（熱感）センサーが反応しにくい場合は、録画モードを連続録画に変更してご使用願います。（P25 参照）
- ・車の通過のほか、カメラ設置付近の草木の揺れ、大気の温度変化、隙間風などにも反応します。

### ■赤外線照射器について

- ・本製品は夜間の暗視撮影を可能とするため、カメラ表面に赤外線照射器を搭載しています。赤外線LEDの寿命は約 6,000 時間です。
- ・夜間の暗視映像が全体的に白くなったり、モニター中央部分に白いリング状のものが映りこむ場合は、設置個所の照度が不足しているか、赤外線の到達距離内に反射物がない場合です。
- ・カメラに近接した反射物（壁面、手すりなど）がある場合は、撮影箇所が暗くなるか、全体的に白っぽくなりますので、カメラの設置場所を変更してください。
- ・夜間モニター内に白い糸状のものが映る場合がありますが、照射された赤外線が空気中の塵などの浮遊物に反射している現象です。
- ・夜間設置場所の明るさによっては、暗視ノイズが入る場合があります。昼間の映像に比べてぼやけます。

# センサー反応範囲について





 <p>カメラに対して 横方向に横切る</p>	 <p>センサー反応範囲</p>	 <p>モニター映像</p>
 <p>カメラに対して 正面から近寄る</p>	 <p>センサー反応範囲</p>	 <p>モニター映像</p>
 <p>カメラに対して 斜めに近寄る</p>	 <p>センサー反応範囲</p>	 <p>モニター映像</p>

できるだけカメラに対して斜めに近寄るように、カメラの位置を調整してください。

※位置によっては、録画開始までのタイムラグにより録画した時には、被写体が映っていない場合があります。

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 絵表示について

<p><b>警告</b></p>  <p>この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示します。</p>	<p><b>禁止</b></p>  <p>してはいけない内容です</p>
<p><b>注意</b></p>  <p>ここの注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。</p>	<p><b>実行</b></p>  <p>実行しなければならない内容です</p>

### 警告

#### ■分解・改造・修理はしない

火災、感電の原因になります。



#### ■異常な状態で使用しない

(発熱、発火、発煙、異臭、異音がする) 火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグや AC アダプターを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

#### ■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V 以下での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。

#### ■雷が鳴ったら本体や AC アダプターに触れない

感電の原因になります。

#### ■AC アダプター、コードなどを破損しない

(傷つける、加工する、無理やり曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、加熱するなど) 傷んだまま使用すると火災、感電、けがの原因になります。電源プラグや AC アダプター、コードなどの修理は販売店にご依頼ください。

#### ■水をかけたり、ぬらしたりしない

火災、感電、けがの原因になります。

#### ■AC アダプター、コードに水をかけたりしない

感電の原因になります。ぬれた場合は、すぐに電源プラグや AC アダプターを抜いて販売店にご相談ください。

#### ■医療機器の近くで使用しない

医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

#### ■低温・高温・高湿度の場所に設置しない

40℃以上の高温または高湿度、0℃以下の低温(モニター)、-10℃以下の低温(カメラ)の場所に設置しないでください。動作不安定や故障の原因となります。

### 注意



- ◇機器の重量などを満たす強度で設置する・・・落下などにより破損やけがの原因となります。
- ◇取り付けや配線を行う場合は必ず電源を切る・・・感電の原因となります。

 警告

実行

## ◇異物が入ったときは使用を中止する

火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグや AC アダプターを抜いて販売店にご相談ください。

## ◇落としたり、破損したときは使用を中止する

そのまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグや AC アダプターを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

## ◇電源プラグや AC アダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

## ◇電源プラグや AC アダプターのほこりは定期的にとる

プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災、感電の原因になります。電源プラグや AC アダプターを抜いて、乾いた布でふいてください。

 注意

禁止

## ■不安定な場所や振動の多い場所には設置しない

(ぐらつき、傾きのある場所) 落下などにより破損やけがの原因になります。

## ■湿気が多い場所、結露が発生しやすい場所に設置しない

(風呂場、台所や水まわり) 結露しますと電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。温度差により結露(水滴)が発生しやすくなります。

## ■高温になる場所に設置しない

(直射日光の当たる場所、車のトランク、ダッシュボードなど) 機器の変形、電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。

## ■ヒーターなどの熱器具の近くに設置しない

コードが溶けて火災、感電の原因になります。

## ■埃の多い場所に設置しない

火災、感電の原因になります。

## ■機器に重いものを置いたり引っ掛けたりしない

落下物などにより破損やけがの原因となります。

## ■コードを引っ張らない

電源プラグや AC アダプターを抜くときはコードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

## ■付属のコード以外の電源コードを使用したり、余った電源コードで延長しない

映像が映らなくなったり、火災・感電の原因となります。

## ■電子レンジの近くで使用しない

無線通信への電磁妨害が発生します。

## ■心臓ペースメーカーの近くで使用しない

ペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。

# I . 必ずお読みください

## 電波について

### 無線に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

### 電波最大到達距離

電波最大到達距離の**見通し150m**は、周囲に電波の障害物や電磁波ノイズが少ない屋外における見通し環境での実測結果です。木造の建物での電波到達距離 20 ~ 40m ほどですが、カメラ（送信機）と受信機の間には障害物（金属製のドア、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、土壁、金属線入りのガラス、断熱材）があると、電波を通しにくくなるため、電波の届く距離は短くなる場合があります。電波の到達距離は使用環境・設置環境により異なります。

### その他のご注意

本製品は 2.4GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機や他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

#### ●電子レンジから距離を離して設置してください

目安：2 ~ 3m 以上 電磁レンジなどを使用中は映像や音声かとぎれることがあります。

●無線 LAN 機器（WiFi ルーター、AV 機器、WiFi を使用した PC など）を使用している環境で本機を使うと、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります（これらの無線機器は電源を入れた状態で電波を発信しています）。

●無線機器の映像信号は設置環境や気温・天候などに影響を受ける場合があります。

## 設置環境からの影響について

ご使用の際、下記の影響を複合的に受けた場合、機器の仕様（耐久性）の限度を超える場合があります。設置の際に配慮をお願いします。

- ・直射日光などの影響
- ・夏の高温などによる影響
- ・降雨、強風、突風、台風などによる影響
- ・冬の低温、湿気、結露などによる凍結、積雪などによる影響
- ・塵、ほこり、土、砂などによる影響
- ・海風などによる塩害の影響
- ・虫や動物、またそれらが出す有機物（糸、毛、抜け殻、糞、尿、体液）による影響
- ・熱源などによる影響
- ・特殊環境による液体や気体などによる影響
- ・その他機器に有害な影響を及ぼすもの

## プライバシー、肖像権について

本製品の設置や使用は、ご使用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮の上行ってください。

## その他

本製品は、電波法に基づき工事設計認証を受けていますので、以下の行為を絶対におこなわないようにお願いします。

- ・分解や改造
- ・本製品に貼り付けてあるラベルをはがしたり、改ざんなどの行為
- ・日本国外での使用。

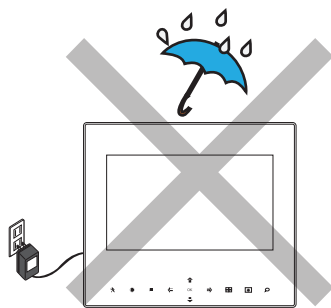


## I . 必ずお読みください

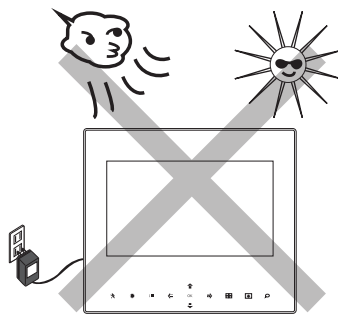
- 本製品は、監視防犯をはじめさまざまな映像を録画する事を目的とした装置ですが、すべての映像を監視する事を保障したものではありません。  
機器の不具合によって映像が録画されていない場合、弊社および販売店では責任は一切負いません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用することもできますが、法的証拠として効力を保障するものではありません。
- 本製品で録画した映像は、場合によっては被撮影者のプライバシー権利を侵害する事があります。映像を活用する場合は注意してください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品の記録媒体に使用しております SD メモリーカード (サイズ: 縦 32mm× 横 24mm× 厚さ 2.1mm) は、振動、外的衝撃などの物理的耐久性、電源の入り切り、停電からの復旧による突入電流などによる電氣的耐久性が低く、永久的に使用可能な媒体ではありません。長期使用により書き込みエラーが発生しやすくなり、寿命に至ります。大切な録画データを破損、損失させないためにも、定期的に SD メモリーカードを交換することをお勧めいたします。

## 内蔵バッテリー取扱上の注意

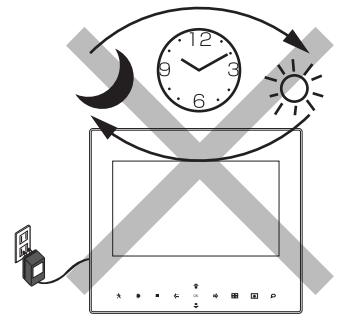
- ・お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、お買い上げ直後だけでなく、使用によりバッテリー残量が著しく少なくなっている時は、AC アダプターにつないで充電を開始してください。
- ・使用中にバッテリーが異常に熱を持ったり、膨張したり、液漏れしたり、異臭や煙などを発した場合は、直ちに使用を中断し、販売店にご相談ください。なお、上記のような症状がみられた場合は、以後絶対に使用しないでください。
- ・バッテリーは消耗品です。使用を繰り返す毎に再生可能な時間は徐々に短くなります。
- ・保管場所にご注意ください。直射日光の当たる場所や炎天下の車内、火のそば、ストーブの近くなどの高温になる場所や、風呂場、洗面所、台所などの湿度の高い場所での使用や保管をしないでください。  
保管に際しては、本体から電源アダプターを取り外し、常温で湿気の少ない場所に置いてください。
- ・バッテリーを含む本製品の廃棄は、お住いの自治体で定められている方法で正しく行ってください。



屋外での使用




過酷な環境



長期に亘る放置

## 本製品の無線技術について

当製品は 2.4GHz 帯を使用した「高度化小電力データ通信システム」で電波法に基づく基準認証を受け、総務省令で定められた [ 技適マーク ] を取得しております。

工事設計認証番号 NS-015W カメラ  R 210-120701

NS-90WM モニター  R 204-520011

# I . 必ずお読みください

## SD(SDHC/SDXC) カードについて

一般的に SD カードは消耗品として位置づけされており、長時間の保存としては十分な媒体ではありません。必要なデータ（証拠映像など）は他の記憶媒体にもバックアップを取っていただくことをお勧めいたします。また、録画データと再生は、こまめにご確認くださいようお願い申し上げます。万一故障や不具合が発生し、SD カードのデータ損失や機会損失があった場合、その補償については弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。（推奨 SD カード：32GB）

## 音声について

本機はハウリングやノイズを発生する場合がありますので、下記の方法をお試しください。

### ハウリング

- モニターのボリュームを低くします。
- カメラとモニターを離します。

### ノイズ

- カメラアンテナ、モニターアンテナの向きを調整します。

## 画面の焼きつき

長時間変化のない映像（動きのないカメラ映像）を画面上に表示させたままにするとモニター画面に残像（焼きつき）が残ってしまう場合があります。確認の必要がない場合はスクリーンセーバー機能をお勧めいたします。

## 以下のような症状は故障ではありません

### 夜間撮影について

- 暗所撮影の赤外線機能は若干の個体差があります。
- 夜間撮影時は昼間の映像に比べてノイズが多く、被写体や周囲の明るさで映像品質が異なります。
- 夜間撮影時の動体検知録画は、人感（熱感）センサーのみ反応します。

### アンテナの向きの説明

- 設置場所の電波の状態が不安定な場合は、機器の設置位置を移動したり、アンテナの向きを調整する方法をお試しください。
  - ・カメラとモニタの直線上に壁が少ないとつながりやすいです。
  - ・カメラ用アンテナを下向きにすると改善される場合があります。

### 注意

- 無線機器の映像信号は設置環境や気温・天候などに影響を受ける場合があります。

### 再生上の注意

- 録画時の電波の状態によっては、再生画像が止まって見える場合や、映像が乱れる場合、音声途切れる場合がありますが、異常ではありません。
- 動かなくなったりする場合
  - ・ AC アダプタの抜き差しをしてください。

### カメラ映像の切り替え

- cam1 から cam4 まで、ライブ映像を切替える際、アイコンをタッチしてから映像が表示されるまで、1～2 秒程時間がかかります。

## お手入れ方法

レンズを水以外のものを使用して拭かないでください。くもりの原因になります。ブローアークだけで表面のホコリやゴミを取り除いたあと、専用のクロス（汚れなどが無い清潔なもの）で優しく拭いて下さい。



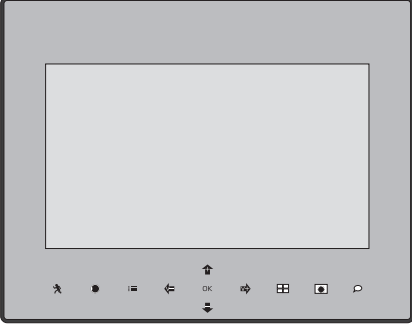
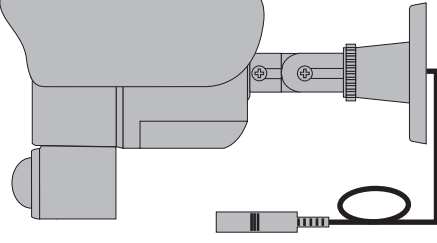
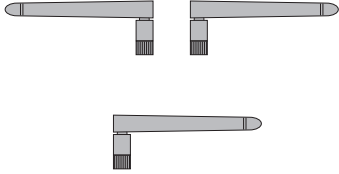
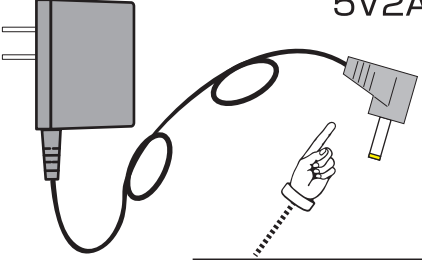
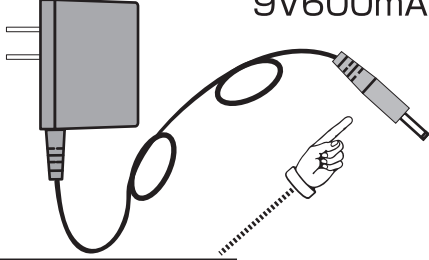
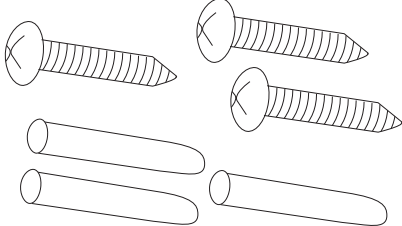
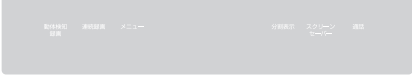
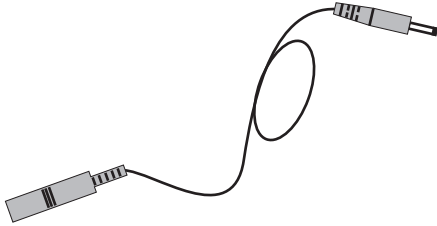
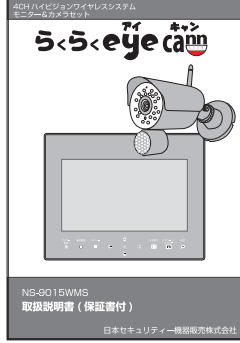
シリーズ		らくらく eye シリーズ
商品名		らくらく eyecan
型番		NS-9015WMS
商品		9 インチモニター カメラセット
カメラ 	総画素数	HD 720P ハイビジョン 100 万画素
	水平画角	水平画角 57° 3.6mm レンズ
	赤外線照射距離	10 ~ 15m
	保護等級	IP65 (屋外可) ※水平より下向きに設置してください。
	出力フレーム数	最大 30fps
	熱感 (人感) センサー	約 2 ~ 5m 水平 60°
	音声マイク	○
	スピーカー	○
	通信距離 (見通し)	150m
	材質	プラスチック
	電源ケーブル長さ	約 4.5m
	電源 (AC アダプター)	DC9V 600mA (ケーブル長約 1.5m)
	使用温度範囲	-10°C ~ 40°C
	使用周波数帯	2.4GHz 帯 (2.4GHz ~ 2.4835GHz)
	変調方式	GFSK
	スペクトラム拡散	FHSS
	データレート	4Mbps
	映像圧縮方式	MPEG-4
	本体寸法 (W*H*Lmm/ 重量 g)	φ80*116*203 mm / 500 g
	モニター 	モニターサイズ
視野角		水平:140° 垂直 110°
外部映像出力		なし
電源 (AC アダプター)		DC5V 2A (ケーブル長約 1.8m)
内蔵バッテリー		連続稼働時間 約 1.5 時間
分割表示		1/2/4
記録媒体		SD / SDHC / SDXC カード 128GB まで対応
録画解像度		1280X720(HD720P)/640X480(VGA) (各カメラ個別設定)
録画方式		スケジュール / 動体検知 / 連続録画 / センサー (熱感) 録画
4 台同時録画・録音		○
録画フレーム数		H D: 最大 15fps ※ VGA: 最大 30fps ※
上書録画		○
4 台 (2 台) 同時再生		×
再生		モニター・パソコン (Windows Media Player)
使用周波数帯		2.4GHz (2.4GHz ~ 2.4835GHz)
変調方式		GFSK
スペクトラム拡散		FHSS
映像圧縮方式		4Mbps
使用温度範囲		0°C ~ 40°C
本体寸法 (W*H*Dmm/ 重量 g)		255*204*34 mm / 690 g
付属品	アンテナ ×3、各 AC アダプター、2m 隙間電源ケーブル、取扱説明書兼保証書、 取付ネジ、シール	

※カメラの台数に反比例して録画時間数が減ります。(フレーム数も減ります。また、フレーム数は環境によっても変動します。) ※カメラ、モニター共に電源 (AC100V) は必要です。  
 ※全ての AC アダプターは防水防滴仕様ではありません。AC アダプターを屋外では使用しないでください。※隙間電源ケーブルをつなぎ合わせるの延長はできません。  
 ※製品向上のため、仕様・外觀は予告なく変更することがあります。※カメラ単体では、ご使用になれません。必ずペアリングしたモニターの電源をオンにした状態でご使用ください。

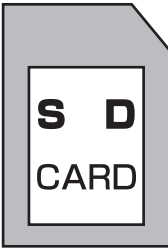
らくらく eye シリーズ オプション品 (別売)

型番	NS-O15W	型番	NS-O10W ※1	型番	NS-AD73	型番	NS-M8L	型番	NS-9
商品名	増設用カメラ	商品名	増設用センサーライティングカメラ	商品名	カメラアンテナ用 3m ケーブル	商品名	クランプ	商品名	モニター専用取付金具
付属品	アンテナ ×1、 AC アダプター (9V0.6A)、 2m 隙間電源ケーブル、 取付ネジ	付属品	アンテナ ×1、 AC アダプター (9V2A)、 2m 隙間電源ケーブル、 取付ネジ	付属品	取付ネジ、 L 字金具、 3m カメラアンテナ用ケーブル	付属品	六角ボルト (M8) ×2、 蝶ナット ×2、 カメラ取付用ネジ ×4	付属品	取付ネジ
									
	※隙間電源ケーブルを つなぎ合わせるの延長はできません。		※隙間電源ケーブルを つなぎ合わせるの延長はできません。		※アンテナ用ケーブルを つなぎ合わせるの延長はできません。		※付属のカメラ取付用ネジを 必ずご使用ください。		※NS-9015WMS 専用

※1) NS-9015WMS にはライト設定がないため、5lux 以下時に熱検知した場合に  
ライトが光ります。(手動点灯はできません。)

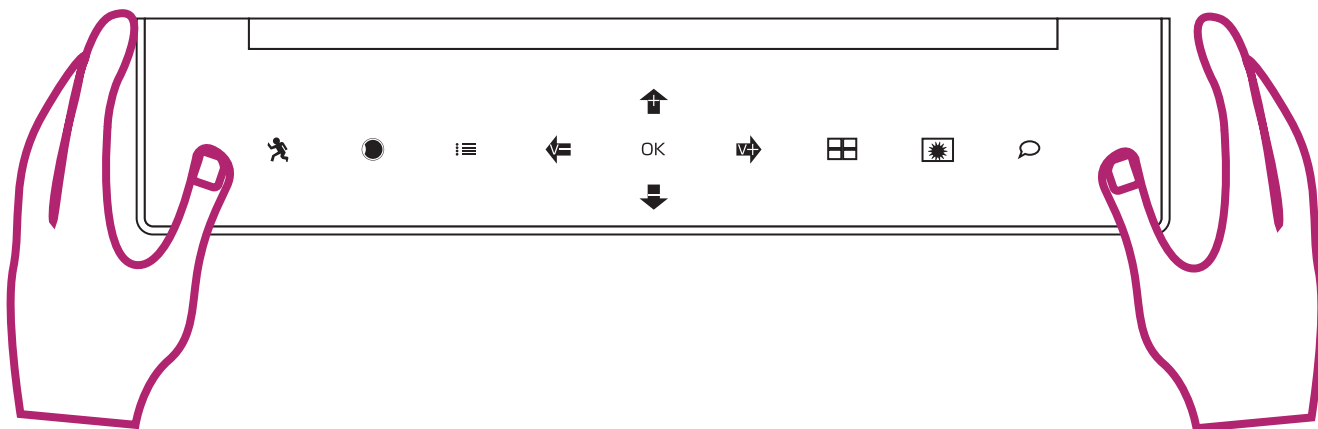
<p>モニター (録画機能付き)</p>	<p>暗視防犯カメラ</p>	<p>アンテナ 3本</p>
		
<p>1.8m モニター用 AC アダプター</p>	<p>1.5m カメラ用 AC アダプター</p>	<p>カメラ用ビス・アンカー (各3本)</p>
 <p>5V2A</p>	 <p>9V600mA</p>	
<p>※モニターとカメラの AC アダプターの差込口の形にご注意ください。※</p>		
<p>モニター用アイコン説明透明シール</p>	<p>2m カメラ用隙間ケーブル</p>	<p>取扱説明書兼保証書 (本書)</p>
 <p>画面に付いているフィルムをはがしてからご使用ください。 (気泡が出やすいので好みでお使いください。) ※保護シートではありません。</p>		

別途ご用意ください

<p>SD カード</p>	<p>+ ドライバー</p>	<p>防水テープ</p>
 <p>録画をご希望の方は、ご用意ください。 SD / SDHC / SDXC カード 128GB まで対応 (推奨 :32GB)</p>		 <p>屋外設置の方は、必ずご用意ください。</p>

モニター本体は本体下部（下図参照）のアイコンを軽く押して使用します。

※画面はタップ出来ませんのでご了承ください。



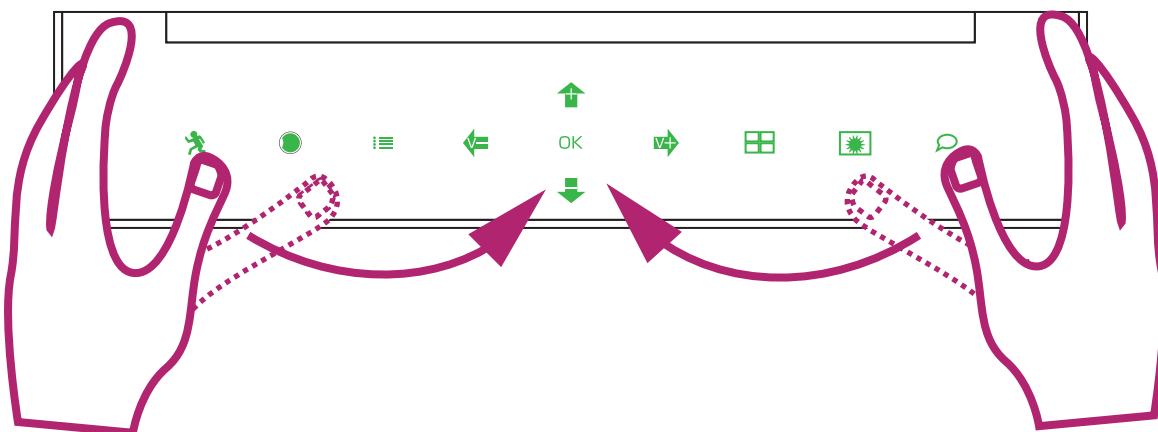
モニター本体を両手で固定して、親指で優しく押してください。

触れるとアイコンが緑色に変わり、画面が反応します。

触れても緑色にならない時は、もう一度押してください。

また、連続で押すと「考え中」になることがあります。

何度も押さないで 10 数秒時間をおいて、もう一度押してください。

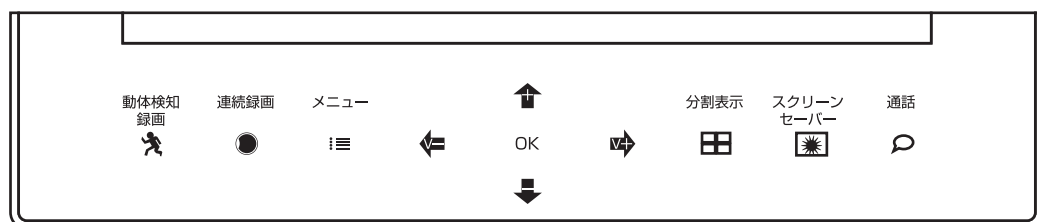
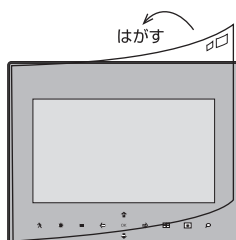


注意) ※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。

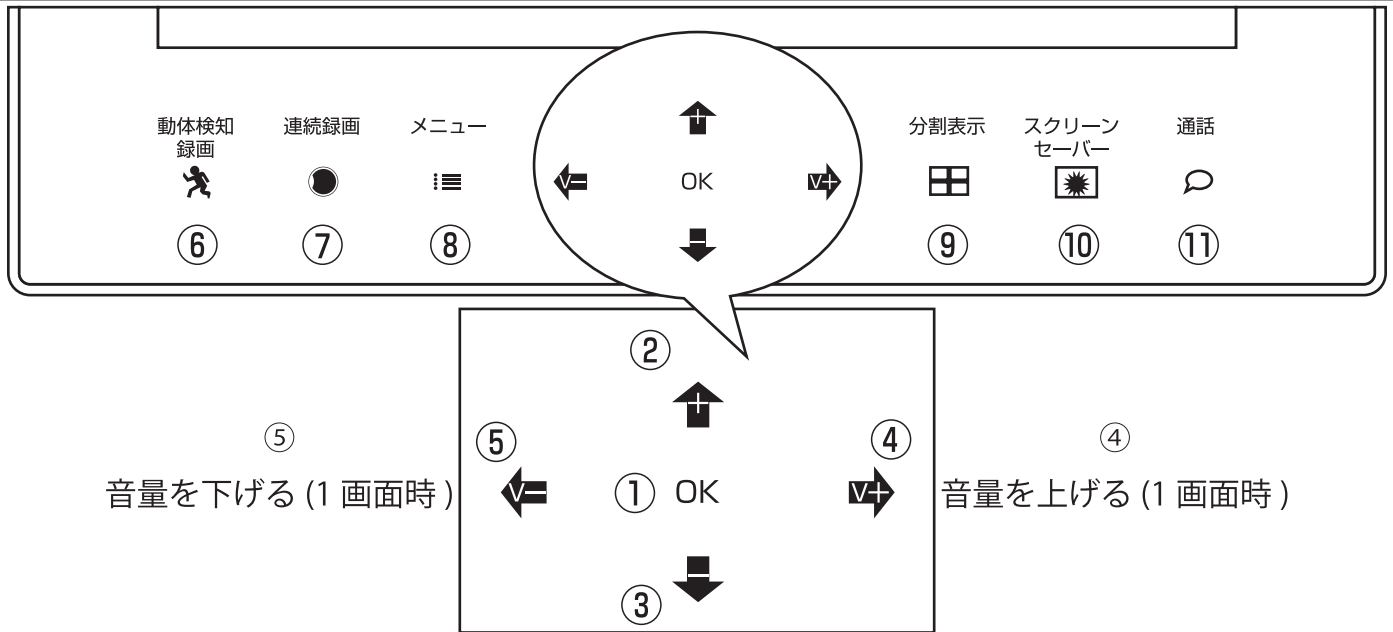
※再生（カレンダー）画面は、自動で切り替りません。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

※「モニター用アイコン説明透明シール」を貼ると、下図のようにアイコンの上に日本語（白文字）が表記されます。次頁からは、シールを貼った状態での説明となります。



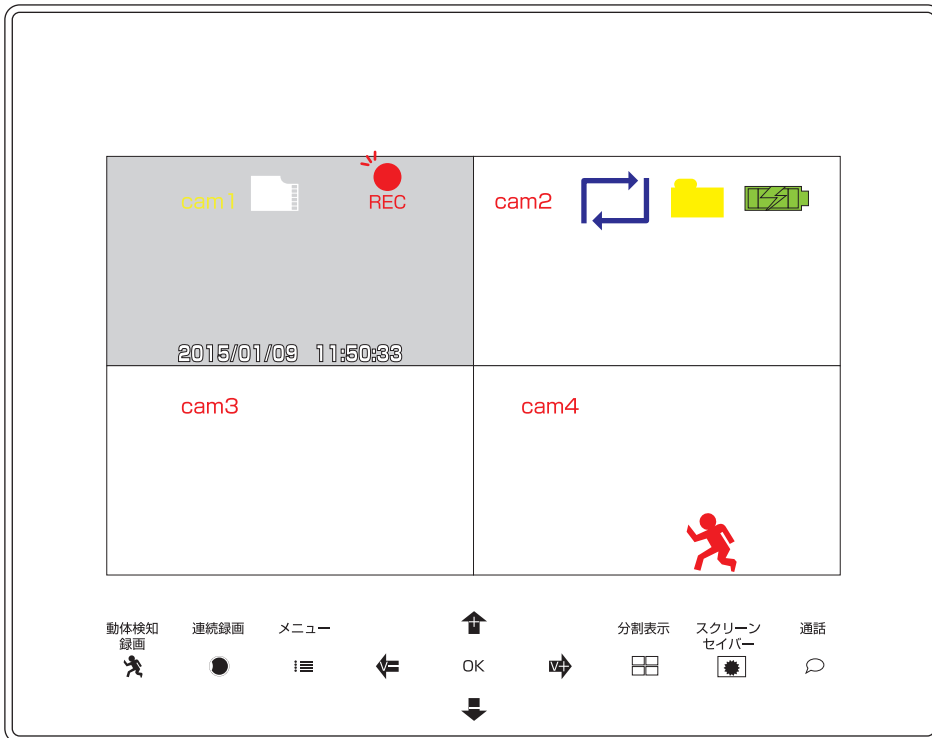
「モニター用アイコン説明透明シール」を貼る場合は、画面に付いているフィルムをはがしてから、シールをお貼りください。



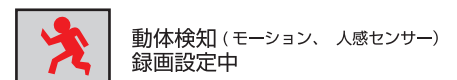
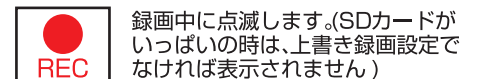
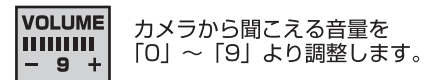
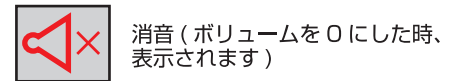
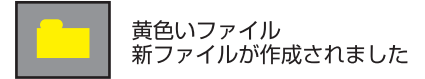
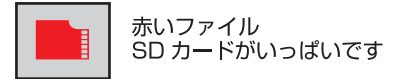
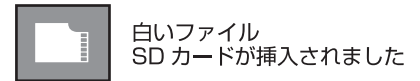
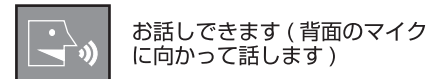
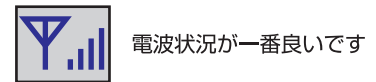
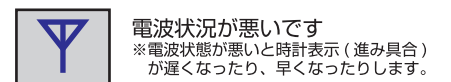
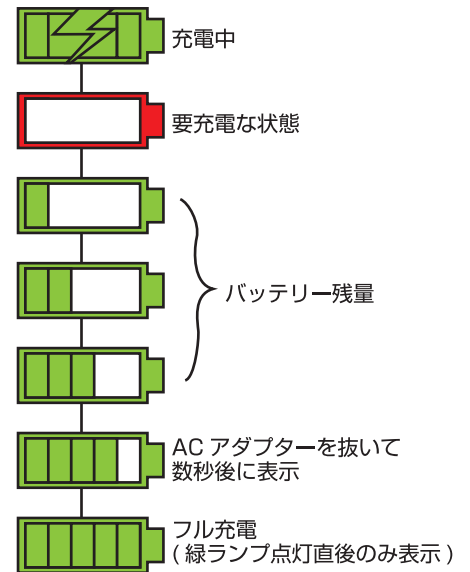
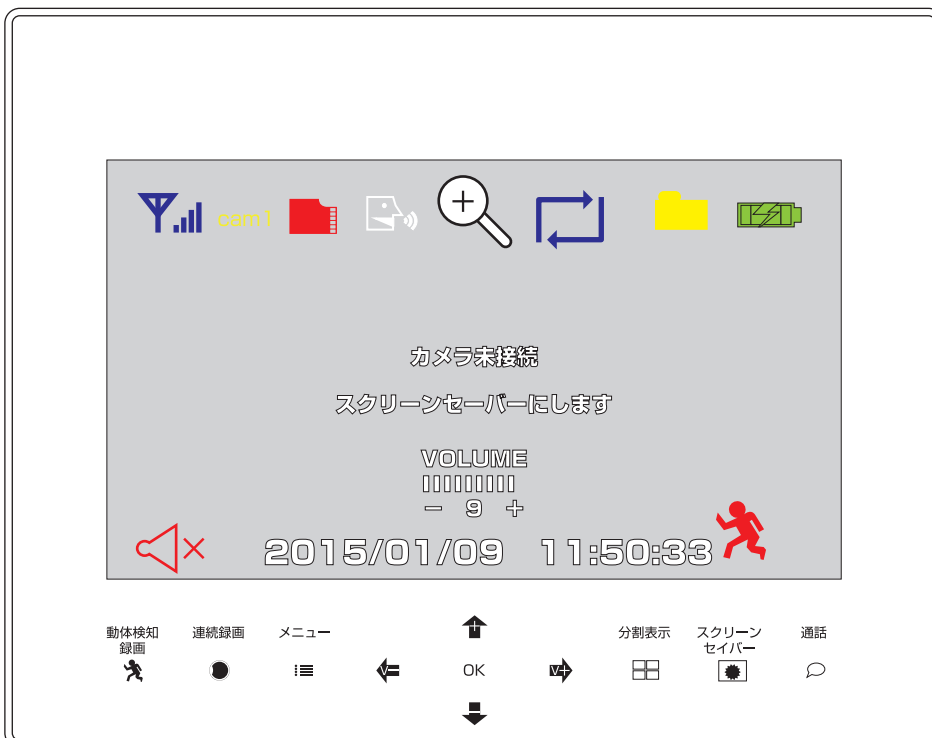
①	OK	決定ボタン ライブ映像時、「再生」⇒「再生リスト」へ移動	P50 (再生)
②	+ (上矢印)	上移動ボタン / 分割画面時: cam1 切替 / 単画面・シーケンシャル時: CH 切替	P54
③	- (下矢印)	下移動ボタン / 分割画面時: cam3 切替 / 単画面・シーケンシャル時: CH 切替	
④	V+ (右矢印)	右移動ボタン / 音量調整ボタン (ボリュームを上げる) / 分割画面時: cam2 切替	P54
⑤	V- (左矢印)	左移動ボタン / 音量調整ボタン (ボリュームを下げる) / 分割画面時: cam4 切替	
⑥	動体検知録画	動体検知 (モーション、人感センサー) 録画 オン / オフ	P24
⑦	連続録画	連続録画 オン / オフ	P25
⑧	メニュー	メニュー画面の表示 / 前画面へ戻る	P26
⑨	分割表示	4 分割 / シーケンシャル ※1	P54
⑩	スクリーンセーバー	スクリーンセーバー オン / オフ ※2	P55
⑪	通話	単画面の時、後面のマイクから会話ができます。	P56

※1 シーケンシャルとは、cam1 からcam4 を1画面ずつ数秒毎(本製品は4、5秒です。)に切り替えて表示する機能です。  
 ※2 スクリーンセーバーとは、映像に変化のない時にモニターの画面を非表示にするものです。

< 4分割画面の場合 >



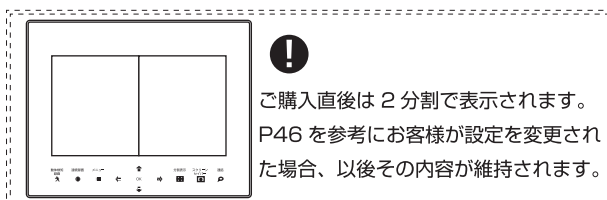
< 単画面の場合 >

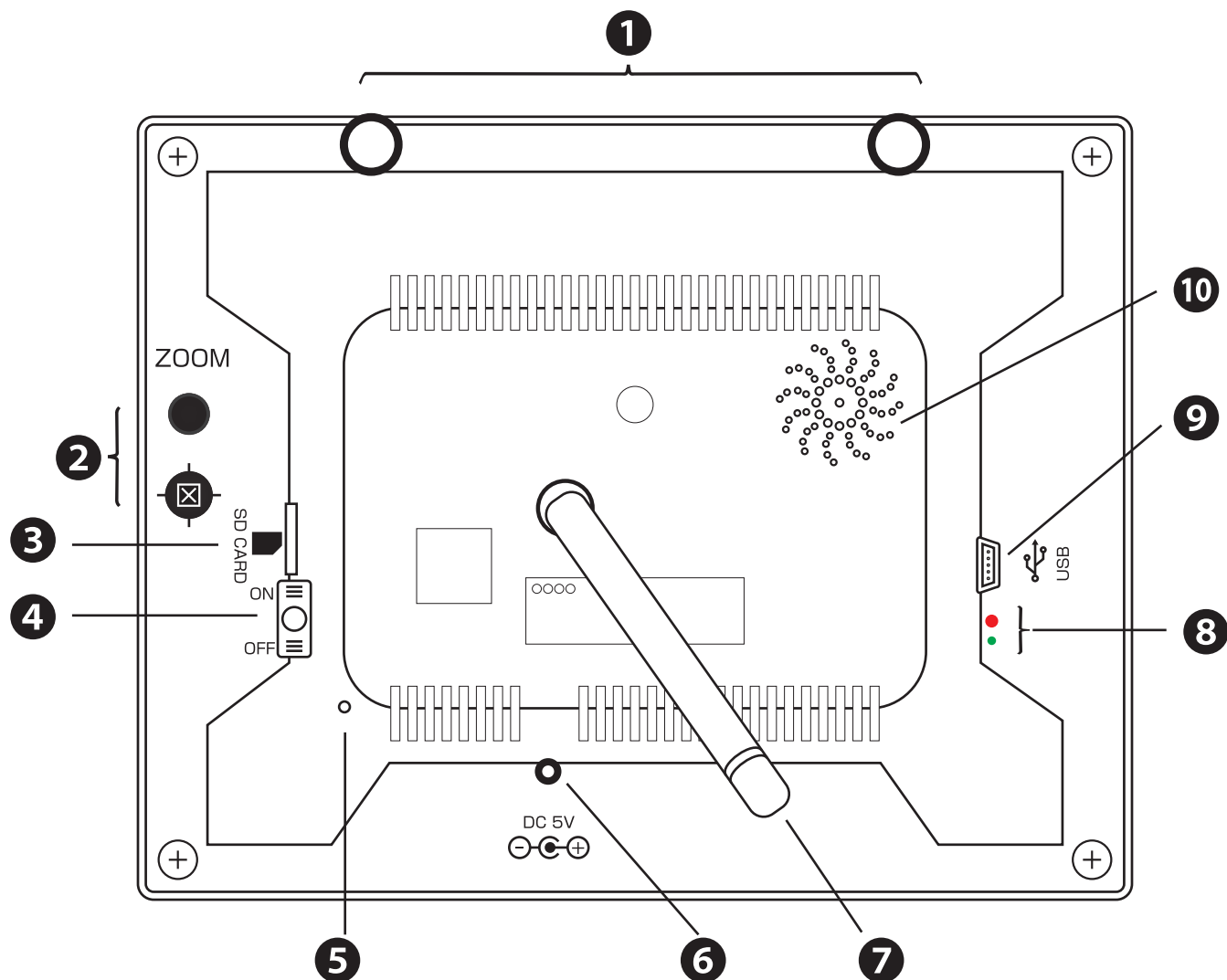


cam1 黄色: カメラ接続中

cam1 赤色: カメラ未接続、非表示、不認識の場合

一画面に表示されるメッセージ  
 「カメラ未接続」: カメラが接続されていない時に表示されます  
 「スクリーンセーバーにします」: スクリーンセーバーのボタンを押した時に表示されます  
 他、その状況に応じてメッセージが表示されることがあります








①	アンテナ取付部	アンテナ取付部
②	ZOOM+ スティック	単画面ライブ映像 (VGA 解像度時) を拡大できます。 ● ボタンを押すと画面に「⊕」が表示され、スティックを動かすと見たい位置に移動します。もう一度● ボタンを押すと「⊕」は消えて、元の大きさに戻ります。 ※ズームされた状態で録画をします。通常のサイズで録画をする場合は、必ずズームを解除してください。 ※強く押しすぎたりしないでください。故障の原因になります。
	スティック	左右に動かし再生時の早送り、巻戻しなど。(P52 参照) 押す→録画ファイルの削除ができます。(P53 参照)
③	SD カード挿入口	SD カード (録画・録音用) を挿入します。
④	電源スイッチ	スライドで入り切りします。
⑤	マイク	ここから話すとカメラ側から声が出ます。(P56 参照)
⑥	AC アダプター接続部	AC アダプターを差し込みます。
⑦	スタンドバー	手前にひいて、本体が立つように調整します。
⑧	電源ランプ	緑：充電完了 赤：満充電ではありません。
⑨	ミニ USB	使用しません。
⑩	スピーカー	カメラ側が話すと、ここから聞こえます。

P12 もあわせてご覧ください。

① モニター用アンテナを、2本取り付けます。(P15 参照)

②		<p>ズームのオン・オフ切替ボタンです。</p> <p>このボタンを押すと、モニター上にズームのアイコン  が表示され、ライブ映像が拡大します。もう一度押すとアイコンは消え、元の大きさに戻ります。</p>
	<p>ズーム中にこのスティックで「上」「下」「左」「右」に動かすと、ライブ映像も「上」「下」「左」「右」に動きます。</p>	

※ズームはライブ映像の単画面時 (VGA 解像度に限り) のみ使用できます。

※再生時にズームは使用できません。


※夜間の暗視撮影時は、車のライト等でハレーションを起こす事があります。

※ズームされた映像を録画します。通常の映像を録画される場合は、必ず解除してください。

③ SD カードを抜き挿しします。(P17 参照)

④ スイッチを入り切りします。(P20 参照)

⑤ 単画面の時、カメラ側に向かって話す時に使用します。



前面パネルの「通話」アイコンを押している間だけ通話アイコン  が表示されています。アイコン表示中にマイクに向かってお話しください。(若干タイムラグがあります。)

⑥ モニターと AC アダプターを抜き差しします (P18 参照)

⑦ モニターを立てる時に傾斜角度を調整できます。(15 度～ 45 度)

スタンドバーを手前に引いたり、モニターの背に付けたり、お好みの角度に設定します。

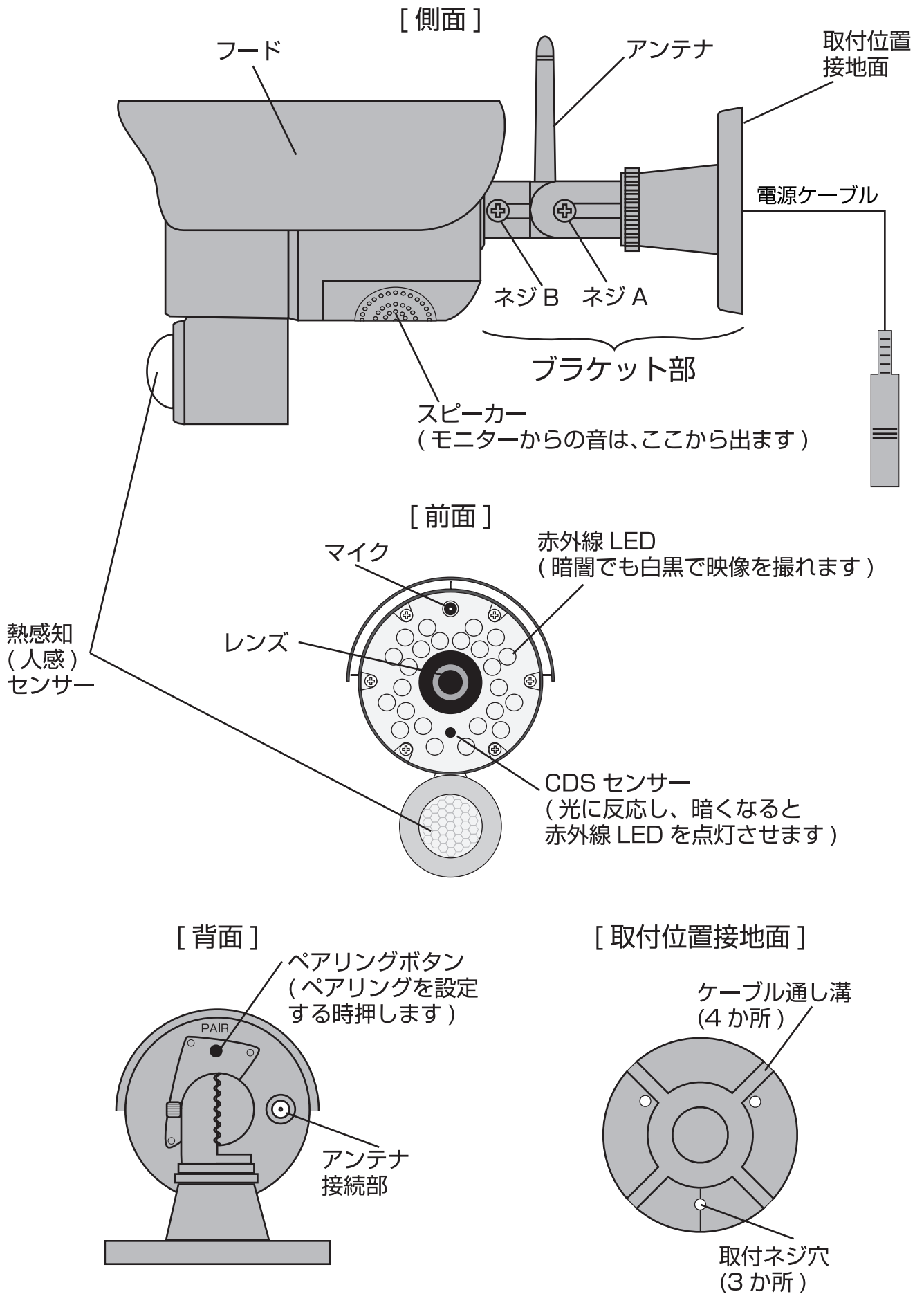
※無理な力で回転させたり、引っばったりしないでください。

⑧	上 	<p>充電中は赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。</p> <p>AC アダプターが接続されていない時は光りません。</p>
下		<p>スクリーンセーバーをオンにすると点灯 (緑色) します。</p>

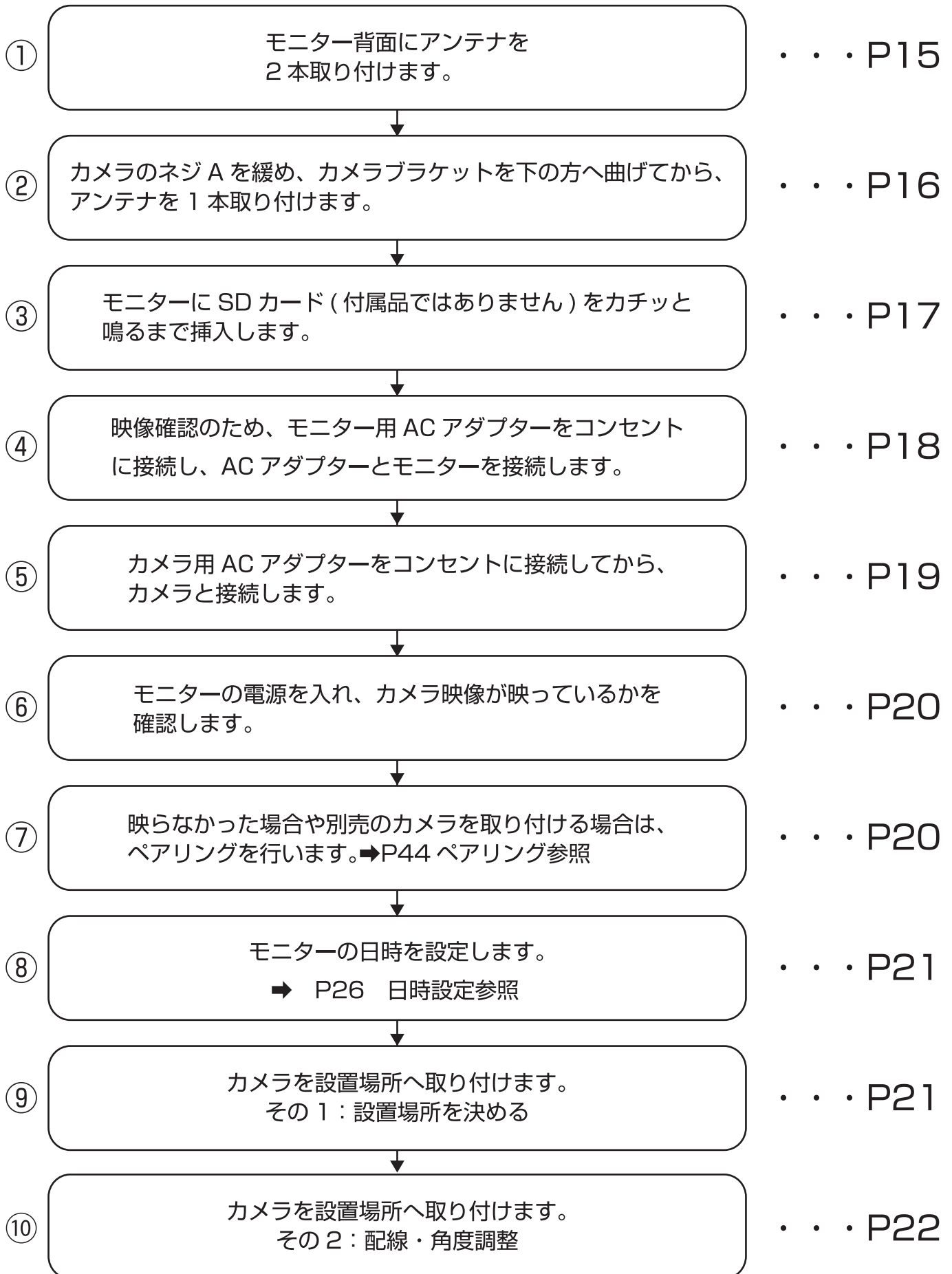
⑨ 使用しません。

⑩ カメラ側のマイクより音声等を拾います。(若干タイムラグがあります。)

※そのカメラの単画面表示中、ボリュームが「0」でない時に限ります。

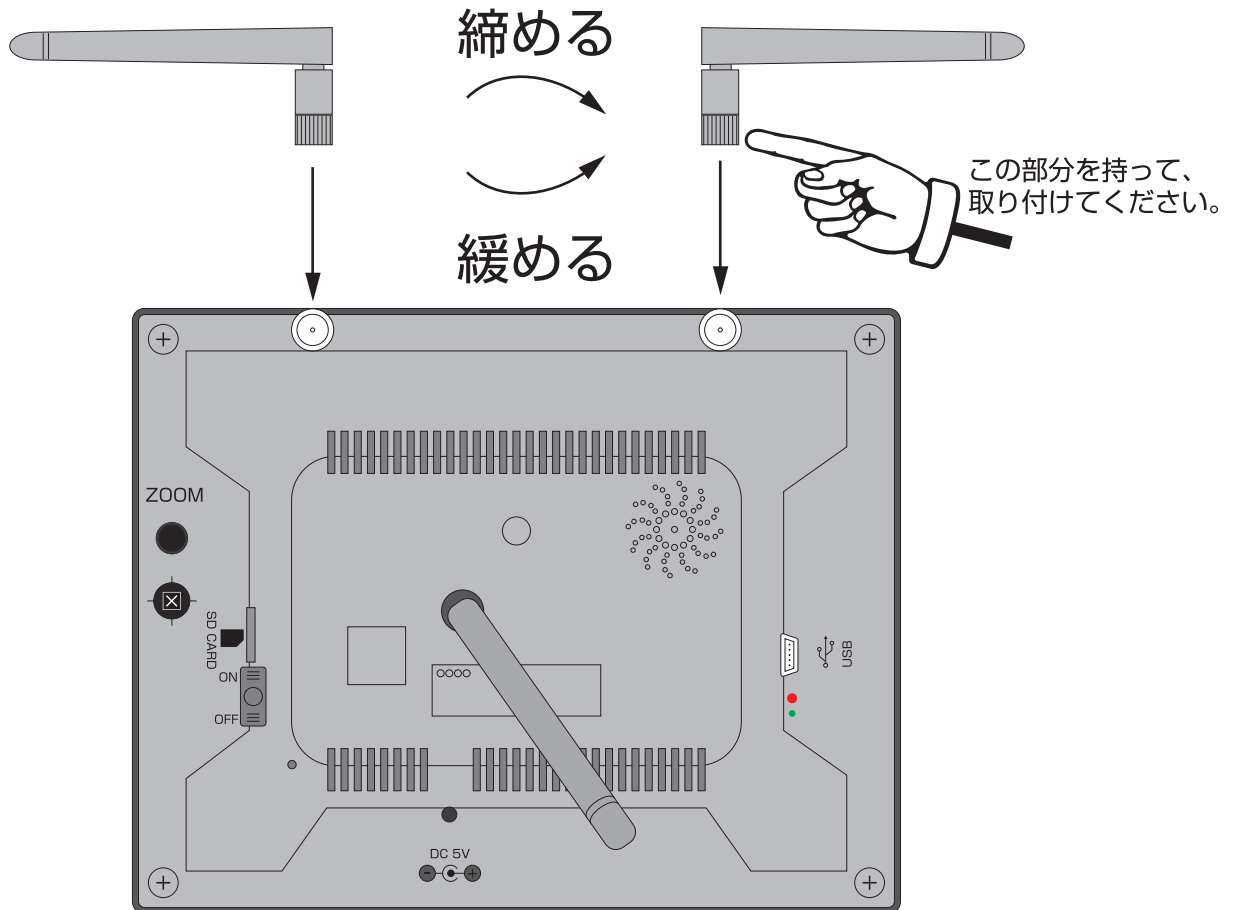






①

モニター背面にアンテナを2本取り付けます。

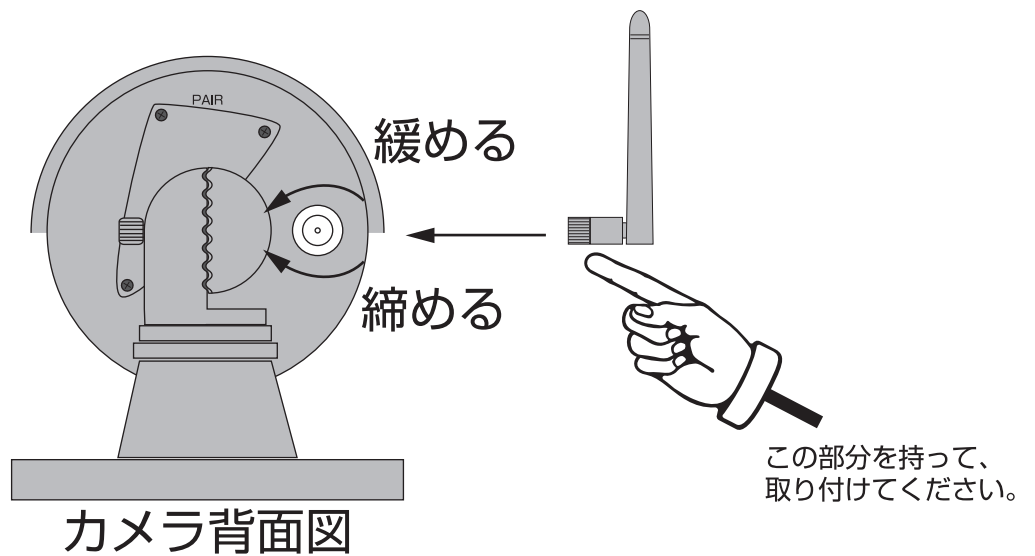
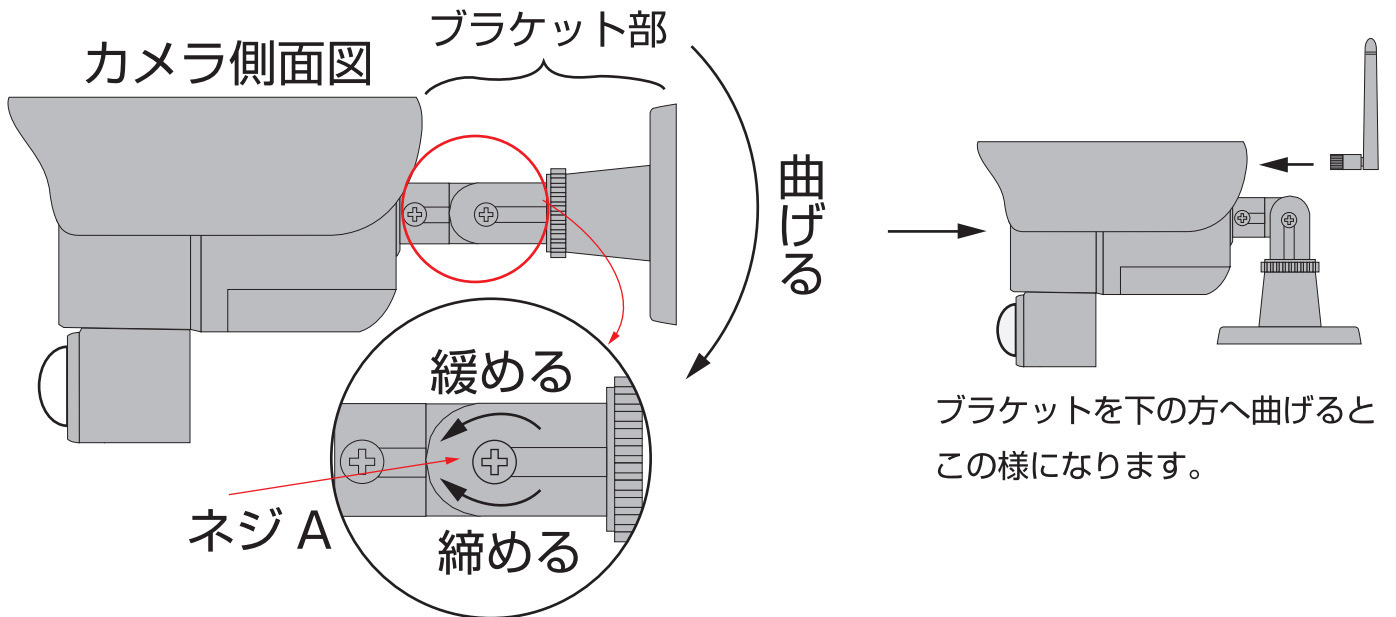


モニター背面図

※アンテナは伸ばした状態で  
取り付け、折り曲げてご使用  
ください。

②

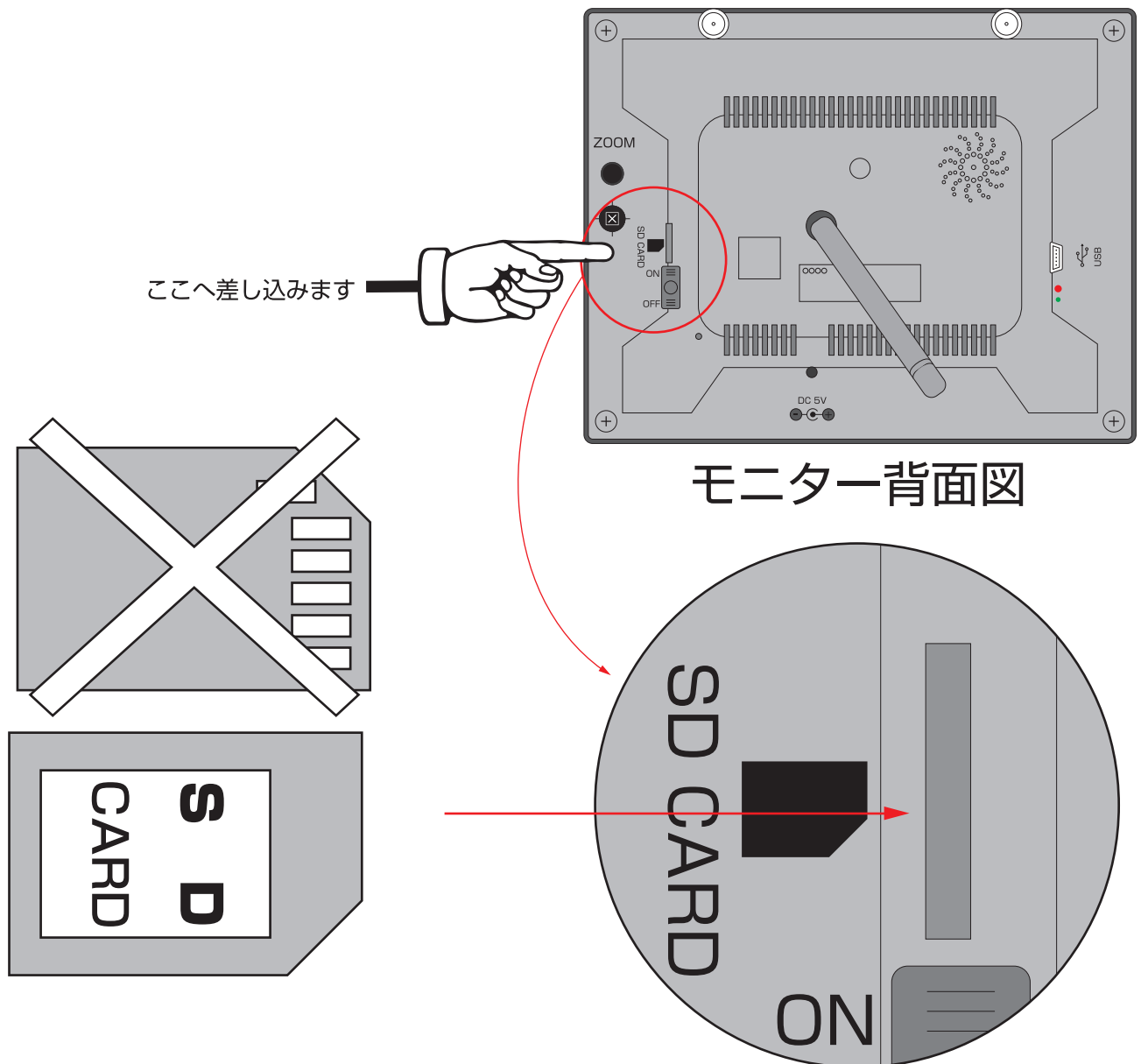
カメラのネジ A を緩め、カメラブラケットを  
下の方へ曲げてから、アンテナを 1 本取り付けます。



※アンテナは伸ばした状態で  
取り付け、折り曲げてご使用  
ください。

③

モニターにSDカード(付属品ではありません)をカチッと鳴るまで挿入します。



モニター背面左側に、挿入口のイラストと同じ形になるようにSDカードのラベル面側を向けて挿入します。カチッと音が鳴ったら、手を離してください。

SDカードをフォーマットします(P28)

※SDカードを取り出すときは、SDカードを奥へ押して、直ぐ手を離してください。

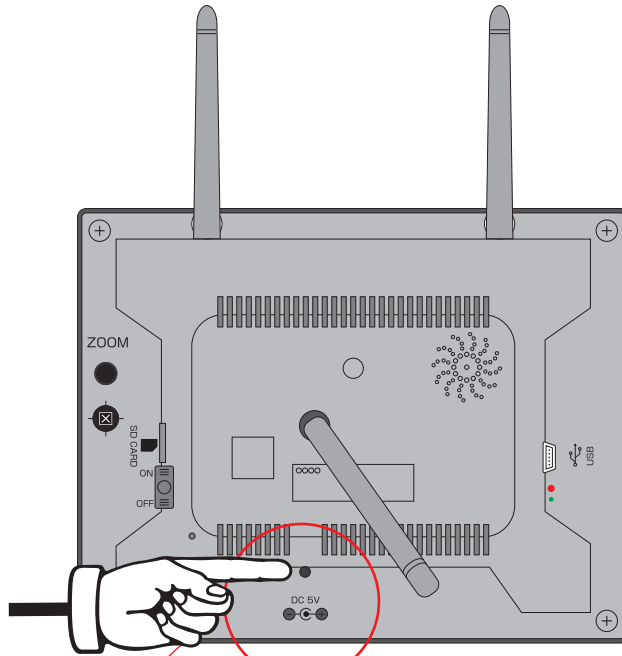
SDカードが7mmほど外へ出てきますので、そのまま抜いてください。

④

モニター用 AC アダプター (差込口が L 字型) を  
コンセントに接続してから、モニターと接続します。

④ -2

ここへ差し込みます

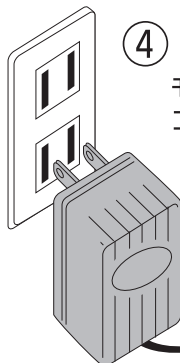


※最初に AC アダプターを  
コンセントに接続します。



④ -1

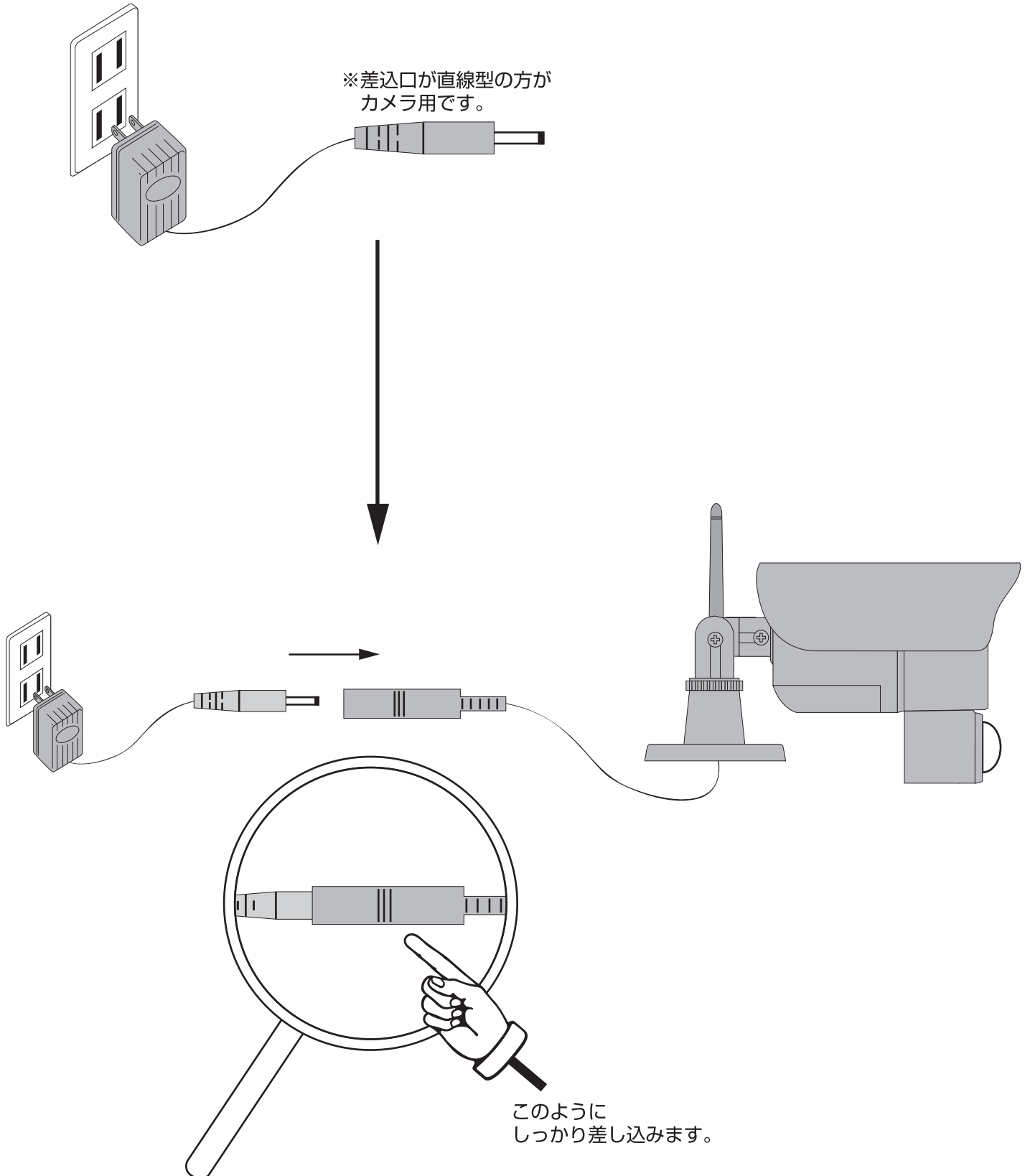
モニター用 AC アダプターを  
コンセントに接続します。



※差込口が L 字型の方が  
モニター用です。

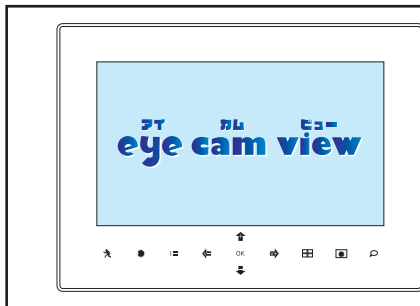
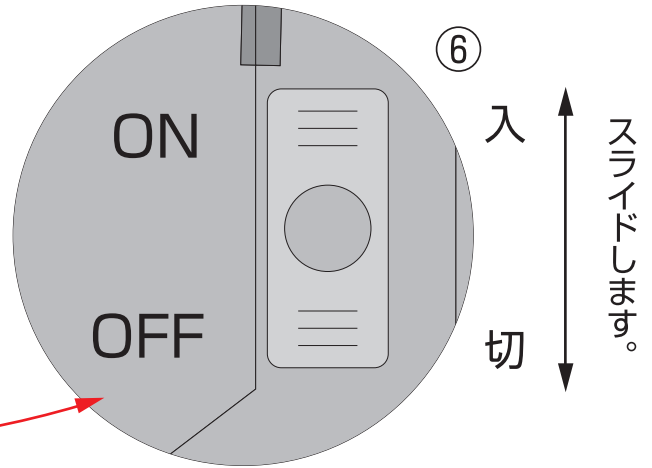
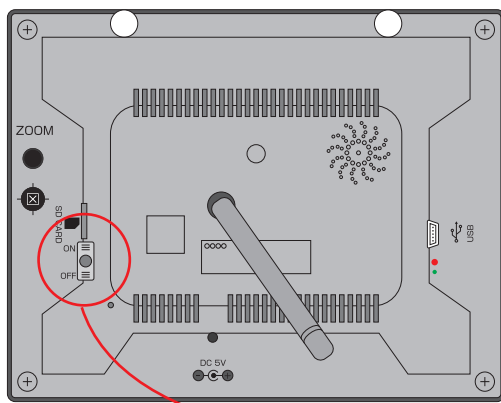
⑤

カメラ用 AC アダプター ( 差込口が直線型 ) を  
コンセントに接続してから、カメラと接続します。

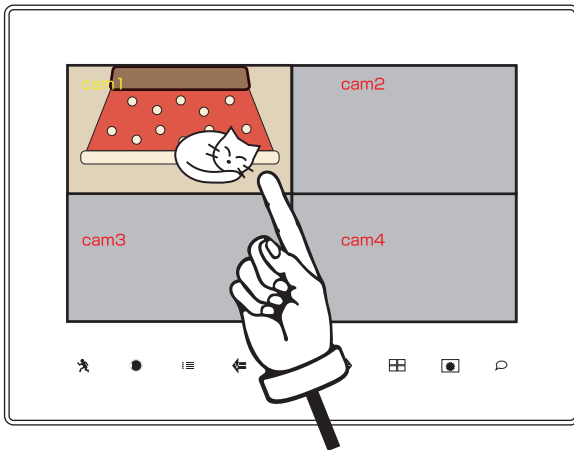


⑥

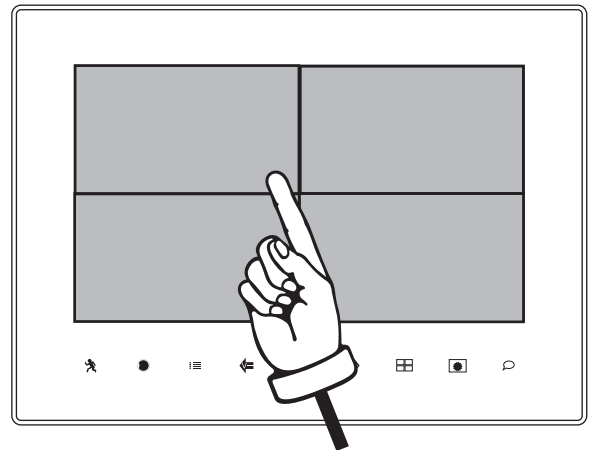
モニターの電源を入れ、  
カメラ映像が映っているかを確認します。



電源スイッチをオンにすると、  
左記画面が一番初めに表示されます。  
その後に映るライブ映像の画像は  
少し荒れますが、数秒で綺麗な映像  
に戻ります。



カメラで撮影している映像が  
cam1 に映っていれば OK



⑦ 何も映っていない場合

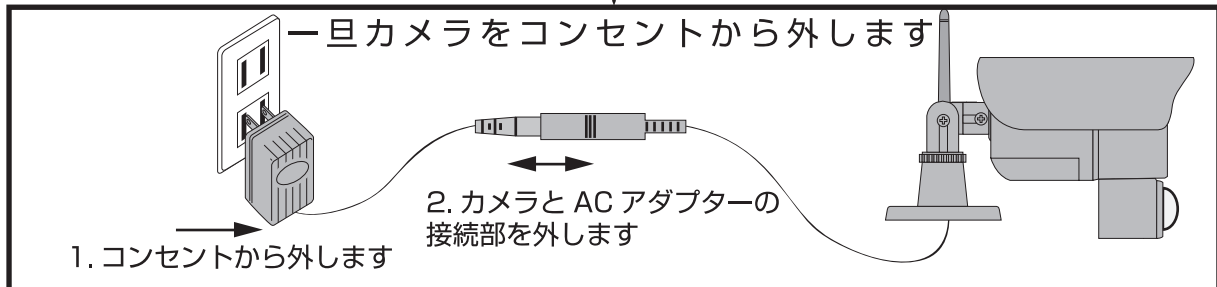
↓  
P44 を参照しペアリング  
を行ってください。

⑦

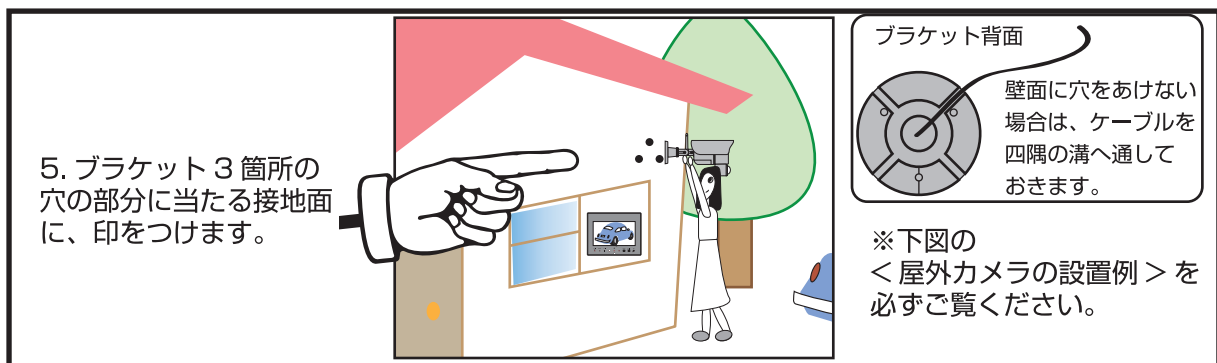
映らなかった場合や増設用カメラ (NS-015W) を取付ける場合、  
ペアリングを行います。➡P44 ペアリング参照

⑧ モニターの日時を設定します。 ➡ P26 日時設定参照

⑨ カメラを設置場所へ取り付けます。その 1 : 設置場所を決める



カメラ取付位置に印をつけます。



※本製品を長くご使用いただくため、軒下での設置をおすすめします。

※電波到達距離の目安は木造家で約 20 ~ 40m です。(P3「電波最大到達距離」をよくお読みになってください。)

<屋外カメラの設置例>

壁面に設置する場合	門袖等平面に設置する場合	天井に設置する場合

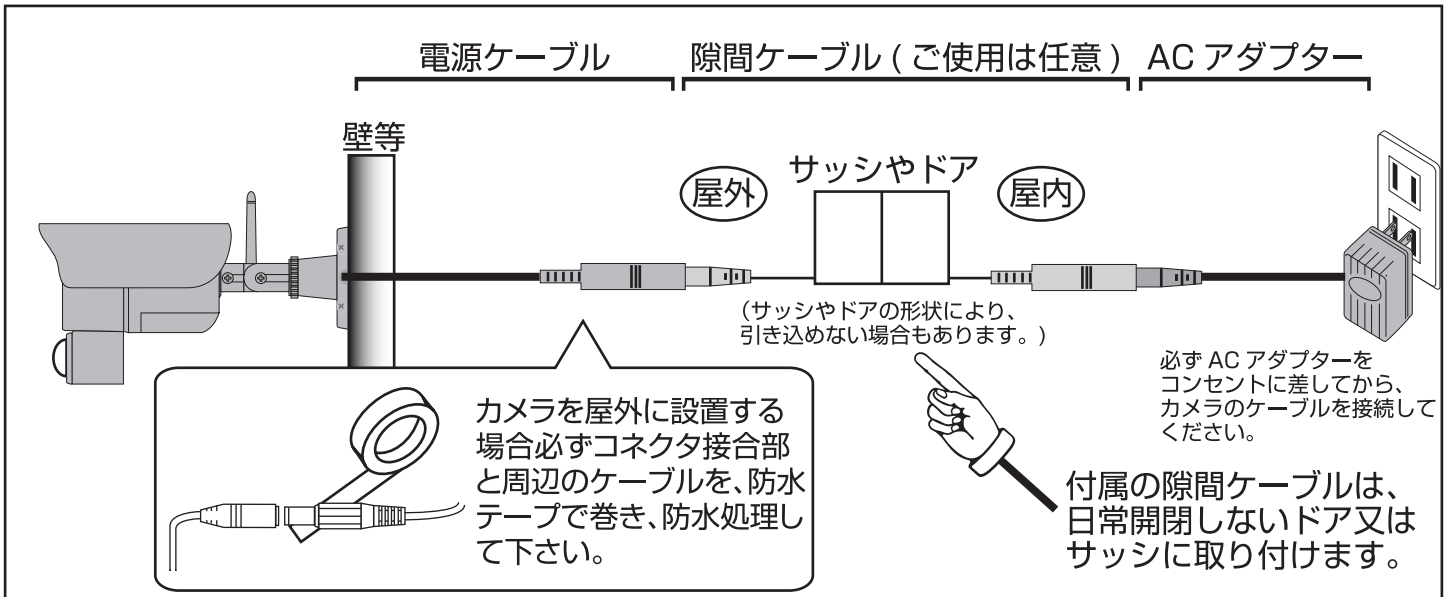
※本製品を屋外で長期間使用される場合、直接日光や雨により劣化しカメラの落下事故につながる可能性がありますので、設置場所は安全な場所を選んでください。そしてカメラ設置の定期的な点検をお願いいたします。

1. 設置前に必ずモニターのそばで電源を入れ、映像が正常に映ることを確認して下さい。(セットアップ⑥参照)
2. カメラ本体に付いている 2 箇所の「ネジ A」と「ネジ B」を少し緩めて設置を始めてください。
3. ご使用上の注意をお読みのうえ、設置場所(上図参照)を決め取付金具を付属の取付金具用ビスで固定します。(設置する材質やビスの長さが付属のビスで合わないときは別途お求め下さい。コンクリート壁面に設置する場合は、コンクリートビスを利用します)「ネジ A」と「ネジ B」を軽めに締めて、ぐらぐらしない様にします。



⑩

カメラを設置場所へ取り付けます。  
その2：配線・角度調整

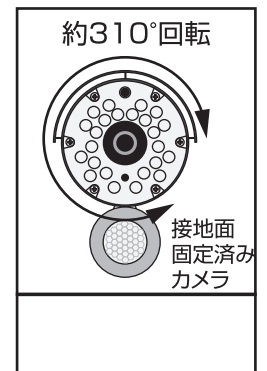
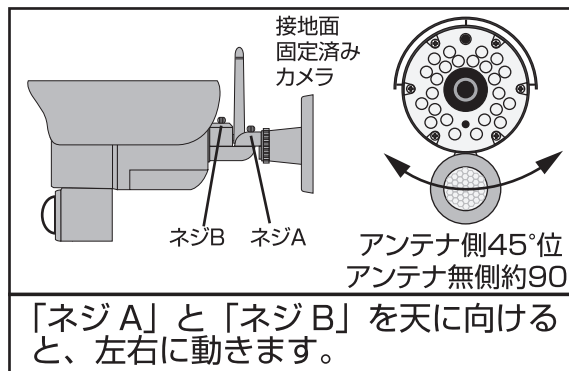
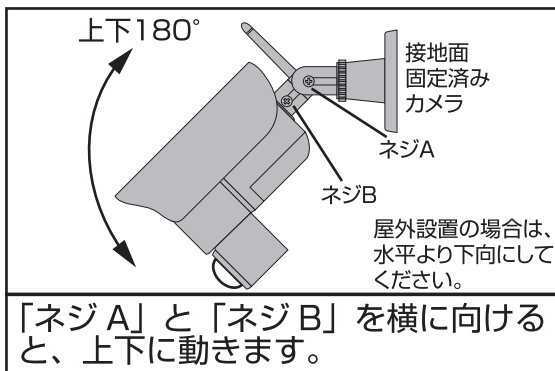


4. コネクター接続部に防水テープ (防水テープは付属していません。) を巻き、水滴が入らない様にして下さい。※(上図を参照ください。)

5. 電源ケーブルを屋内のコンセントまで配線して下さい。※(上図を参照ください。)

6. AC アダプターをコンセント (AC100V) に差し込み、カメラの電源ケーブルと AC アダプターを接続して下さい。電源ケーブルを加工しての延長はできません。電圧降下の原因によりカメラが正常に稼働しません。

※隙間ケーブルで引き込めない場合は、通気口・エアコンダクト周辺の通し穴等を利用する、もしくはカメラケーブルのコネクターが通せる穴を貫通させてご使用ください。



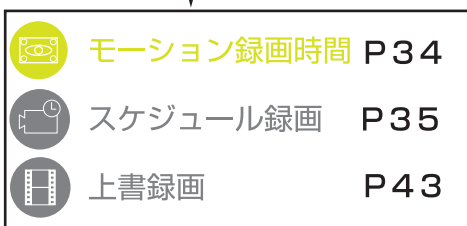
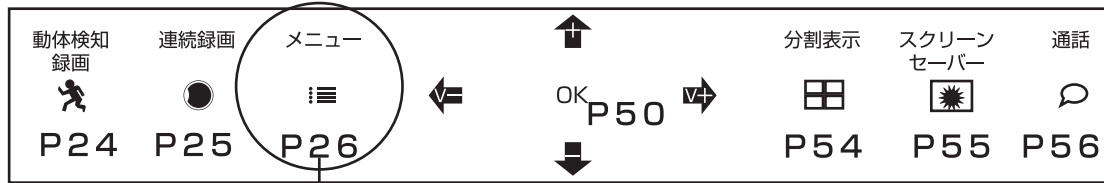
※角度によってはアンテナにあたり、記載通り動かない場合があります。

水平に回転させたい等の条件がある場合は、別売の「カメラアンテナ用3mケーブル」を使用すると、カメラを90度近くまで曲げることが可能です。

7. カメラの撮影方向 (カメラの向き) は、「ネジA」と「ネジB」を緩め、モニターに映しながら「上下」「左右」「回転」で調整します。(上図参照)

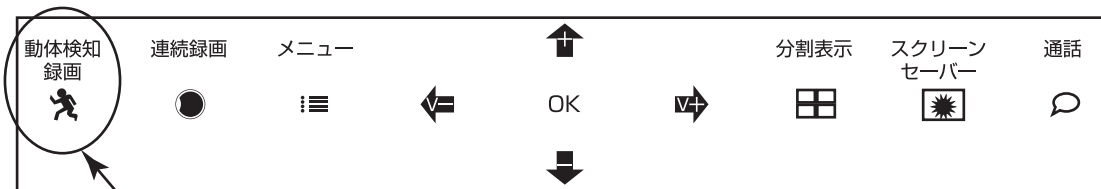
8. 位置決定後、確実にドライバーでしめつけ固定します。

注) カメラ取付の際、カメラレンズの周りに壁や金属があると、夜間赤外線反射光が映像の中に映ることがあります。カメラヘッドを上下左右に回すことで位置が調節できます。(上図参照) 映像内に白っぽい影が入る時は、位置を移動して下さい。



メニューの操作中でも録画はされます。

## Ⅳ. パネル基本操作 1. 動体検知録画




このボタンを使います。



動体検知録画とは、動きに反応して録画する機能です。

SDカードが挿入されているか、SDカードのフォーマットを行ったか確認してください。(P28)

このボタンを押すと、画面右下に「 (赤色)」が表示されます。もう一度押すと消えます。

**ライブ映像中以外に「動体検知録画」のボタンを押しても録画はされません。**

動体検知録画設定の感度は、「メニュー」→「動体検知」P32を参照してください。

動体検知録画時間は、「メニュー」→「録画」→「モーション録画時間」P34を参照してください。

動体検知録画を設定すると、「」が表示され、1CH～4CHすべてのカメラが、動体検知録画になります。

※例えば、「1CHのみ動体検知録画をする」というような、カメラ個別での動体検知録画オン/オフはできません。

### 動体検知について

本機の”動体検知”は、カメラに装備される人感(熱感)とモーションセンサーによって行われます。

人感センサーはPIR(Passive Infra Red)赤外線センサーです。

周囲の温度変化を感知して動作する仕組みとなっております。(トラック等に反応することもあります。)

人感センサー感知エリアは、カメラ正面より前方約2～5メートル※以内、水平約80度の範囲となっております。(※感知距離は、外気温によって変わります。夏や雨天時は短く(1～2m)なります。)

この感知エリア内で、熱(赤外線)を発生する物体(人や動物)が移動することによって人感センサーが動作します。この人感センサーは、常に働いています。

モーションセンサーは熱(赤外線)を発生する物体(人や動物)以外に動きがあった時に反応します。

モーションセンサーも使って録画する場合、「動体検知」の設定が必要です。

※夜間は人感(熱感)センサーのみ反応します。

※動体検知録画設定中に動体検知録画をしている時は、「」が点滅します。

注1) 赤外線の変化を感知するため、動物(犬や猫)によって作動することがあります。

注2) 感知エリア内であっても、人が全く動かない場合は感知しない場合があります。


注3) 気温と人の体温が近い場合や、ゆっくりした移動には感知しにくい場合があります。

注4) センサーに向かって正面より近づく場合は、感知距離が短くなる場合があります。

①人感センサーで録画をしたい場合、下記の操作で設定します。

 動体検知録画ボタン  
オン → 動体検知感度の設定 (P32)  
オフ

②人感センサーとモーション(動体)検知の両方で録画をしたい場合、下記の操作で設定します。

 動体検知録画ボタン  
オン → 動体検知感度の設定 (P32)  
『高』『中』『低』から選択

※モーション(動体)検知のみでの録画はできません。また、夜間は人感センサーのみ反応します。

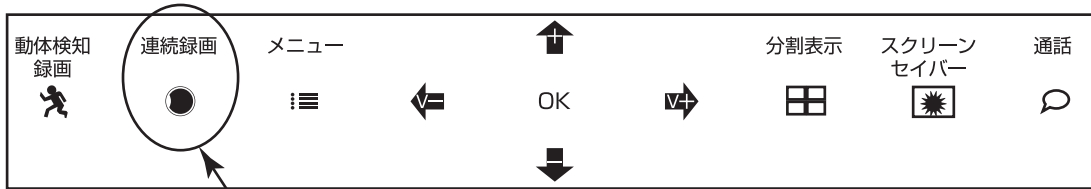
SDカードの録画ファイルがいっぱいになってしまうと、上書き録画が「いいえ」の場合、何度「連続録画ボタン」を押してもRECマークは、表示されません。(録画されません。)  
「連続録画」にされたいときは、必ず「メニュー」→「録画」→「上書録画」(P43)より「はい」を選択してください。

注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

## Ⅳ. パネル基本操作 2. 連続録画



このボタンを使います。

連続録画とは、常時録画する機能です。

SDカードが挿入されているか、SDカードのフォーマットを行ったか確認してください。(P28) この「連続録画」のボタンを押すと、画面上に REC マーク「 (赤色)」が点滅され、もう一度押すと消えます。

ライブ映像中以外に「連続録画」のボタンを押しても録画はされません。

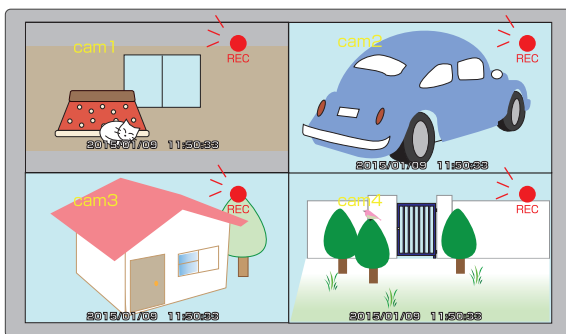
長時間録画の場合、約10分前後毎のファイルに分割して録画を行います。

※ボタンを押してからRECマークの表示ができるまで数秒時間がかかります。

また、連続録画を解除する場合も同様に、ボタンを押してからRECマークの表示が消えるまで数秒かかります。

※スケジュール録画中でも「連続録画ボタン」を押すと強制終了になり、録画が止まります。必ずRECマークをご確認ください。

SDカードの録画ファイルがいっぱいになってしまうと、上書き録画が「いいえ」の場合、何度「連続録画ボタン」を押してもRECマークは、表示されません。(録画されません。)  
「連続録画」にされたいときは、必ず「メニュー」→「録画」→「上書録画」(P43)より「はい」を選択してください。

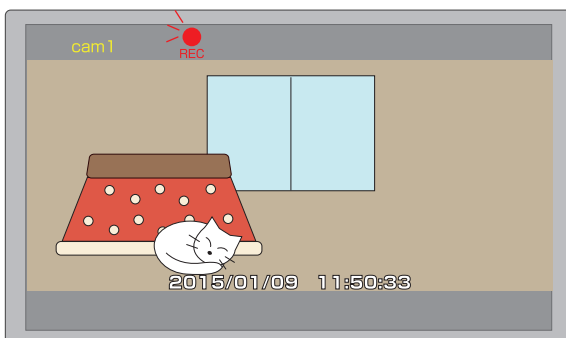


①すべてのカメラを連続録画したい場合

4分割表示時(P54)に、連続録画ボタンを押します。



cam1 から cam4 の全てのカメラに REC マークが表示されます。



②各カメラごとに連続録画の設定をしたい場合

連続録画したい画面を単画面表示にする。(P54)

→ 連続録画ボタンを押す。



選択した cam1 のみ REC マークが表示されます。

連続録画での録画中に停電が発生し、停電が復旧した場合、自動で録画を再開しません。復旧後、再度連続録画のボタンを押してください。

【動体検知録画(P24)設定もしくはスケジュール録画(P35)設定の場合は復旧します。】

※SDカードに十分な容量が残っていても、SDカードに保存できるファイル数には上限があるため録画出来なくなることもあります。上限ファイル数はご使用になっているSDカードのフォーマットによって異なります。

注意)

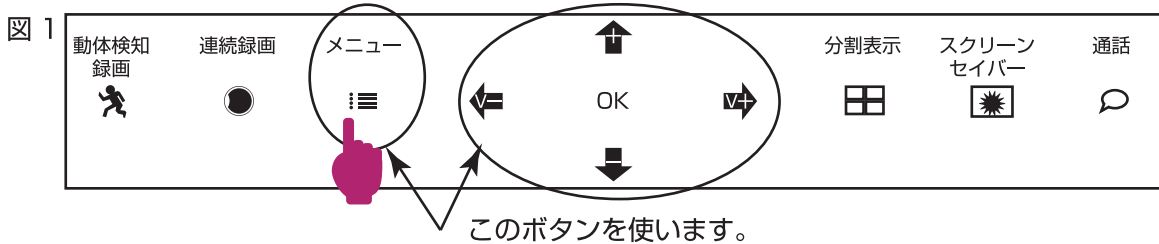
※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

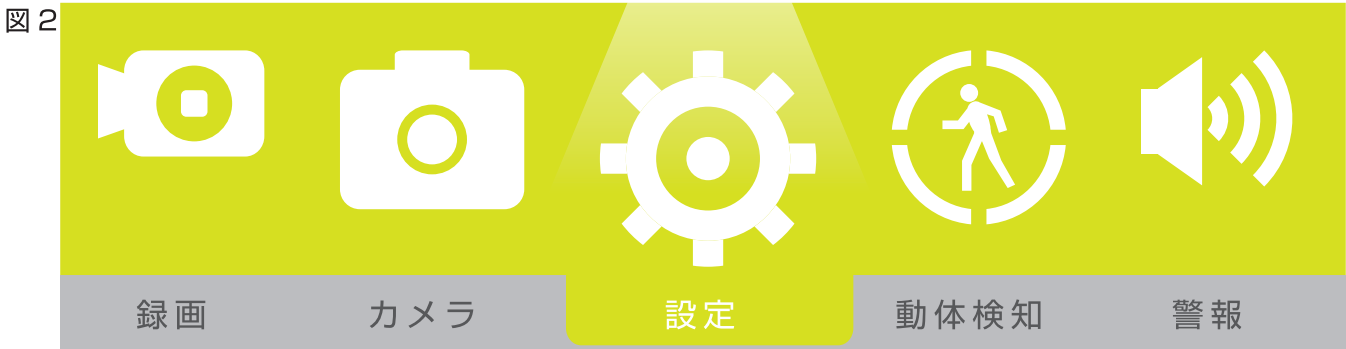
< 「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を合わせる >

メニュー → 設定 → 日時設定

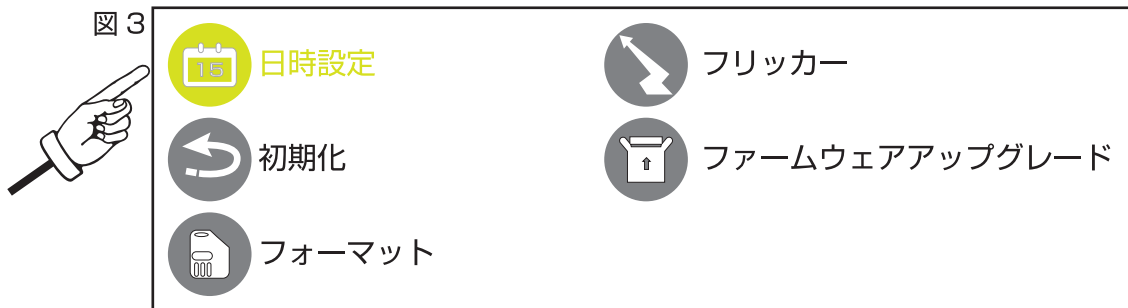
本機内蔵のクロックは水晶発振子を使用している為、時間経過とともに、時計のくずれが生じます。  
 (電波時計の様に時間合わせはしません。) 従って、本設定によって、定期的な時計合わせを行って下さい。



メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「設定」が中央にある状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「日時設定」が黄緑色になっている状態で「OK」を1回押します。下記の画面が表示されます。



黄緑色になっている「年」「月」「日」「時」「分」「秒」の数字を「上下矢印」で変更します。

(「上下矢印」は、長押しで早く進みます。)

数字を合わせたら、「左右矢印」で移動します。「OK」を押すと [ 図 3 ] に戻り、設定完了です。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

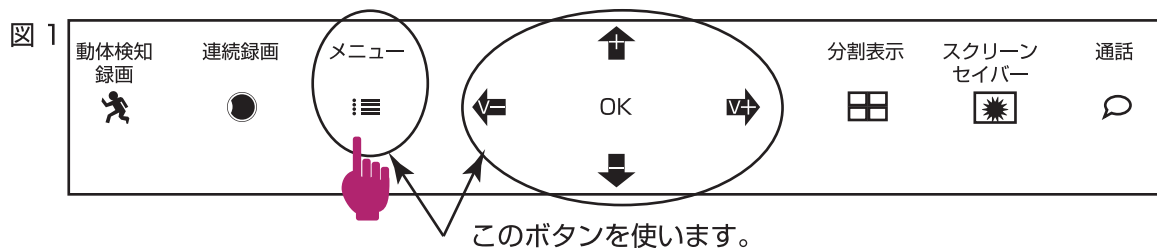
日時設定を反映させるため、  
 設定後は必ず「OK」を押して  
 決定してください。

注意)

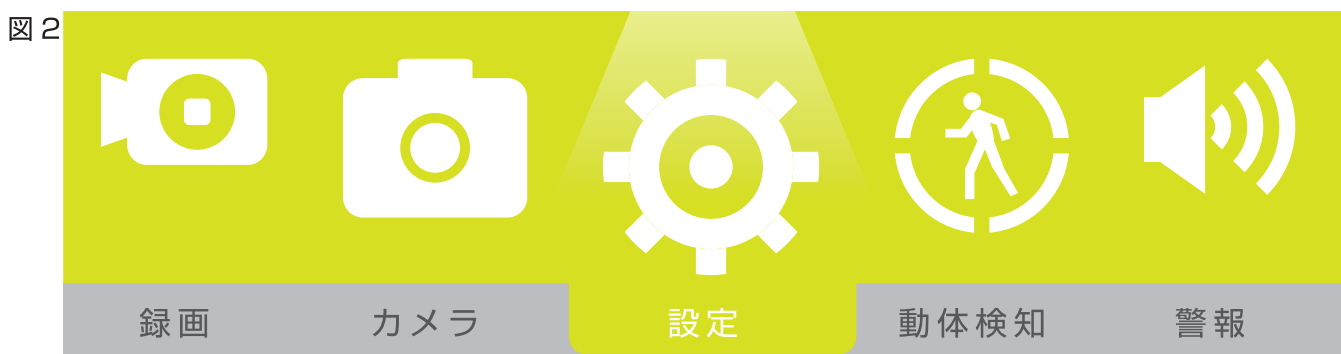
- ※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。
- ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< 初期化する ( 全ての設定を工場出荷時に戻します ) >

メニュー ➡ 設定 ➡ 初期化 ( 初期設定の内容は P58 でご確認できます。 )



メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「設定」が中央にある状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「上下矢印」で「初期化」に移動します。

「初期化」が黄緑色になっている状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面が表示されます。



「上下矢印」で「はい」に移動します。

「OK」を 1 回押すと、本体は初期化され [ 図 3 ] に戻ります。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

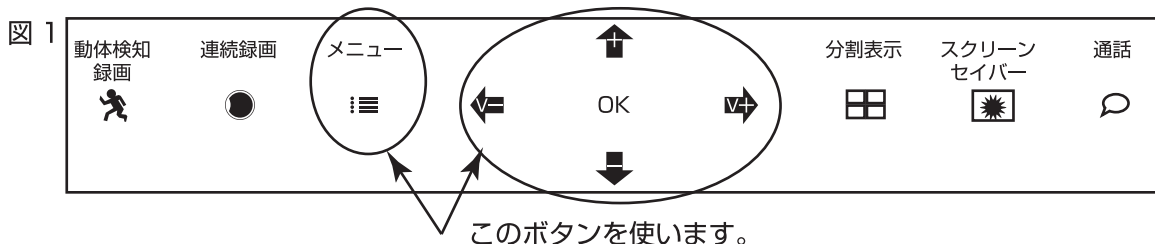
**設定は全て工場出荷時に戻ります。**  
 ペアリング / 時刻 / カメラ表示は、お客様が設定された状態のまま維持されます。

注意)  
 ※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。  
 ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

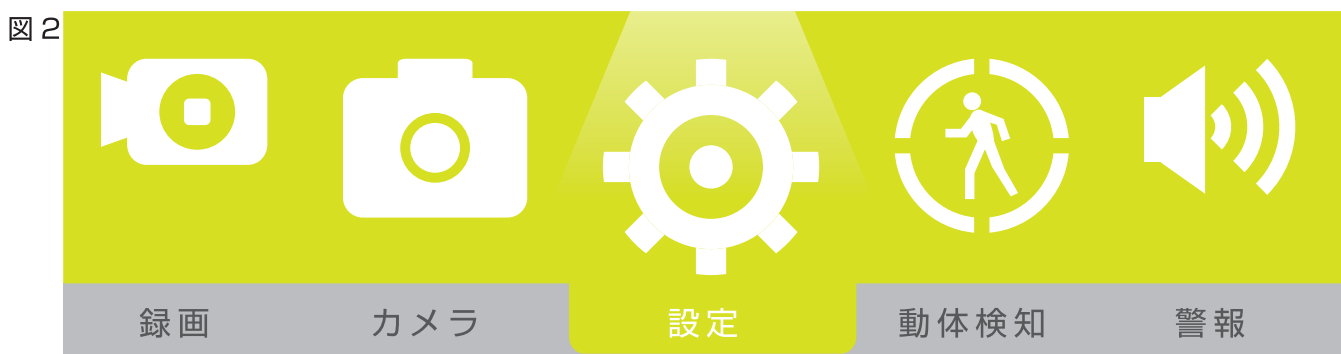
<フォーマットする(「SDカード」を初期化)>

メニュー → 設定 → フォーマット

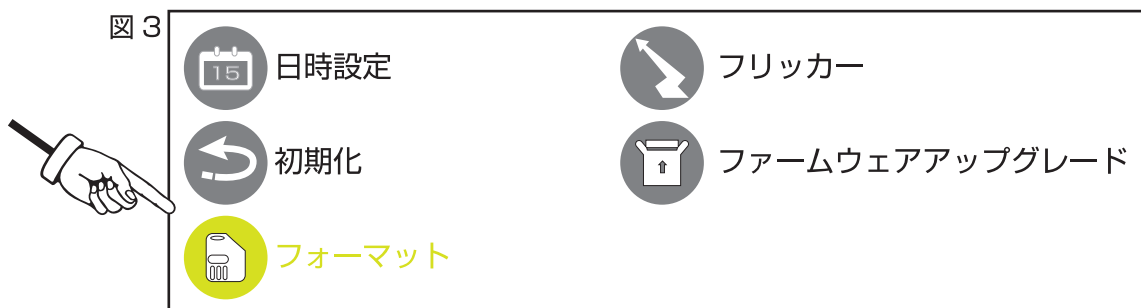
SDカードが挿入されているか確認してください。



メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「設定」が中央にある状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「上下矢印」で「フォーマット」に移動します。

「フォーマット」が黄緑色になっている状態で「OK」を1回押します。下記の画面が表示されます。



「上下矢印」で「はい」に移動します。

「OK」を1回押すと、本体はフォーマットされ [ 図 3 ] に戻ります。

フォーマットできなかった場合、パソコンでフォーマットして下さい。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

**録画データは全て消去されます。**

定期的(月に2回以上)にフォーマットをされることをおすすめします。

注意)

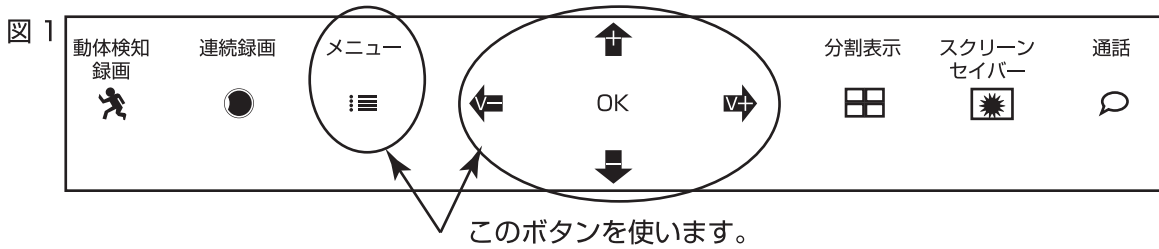
※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

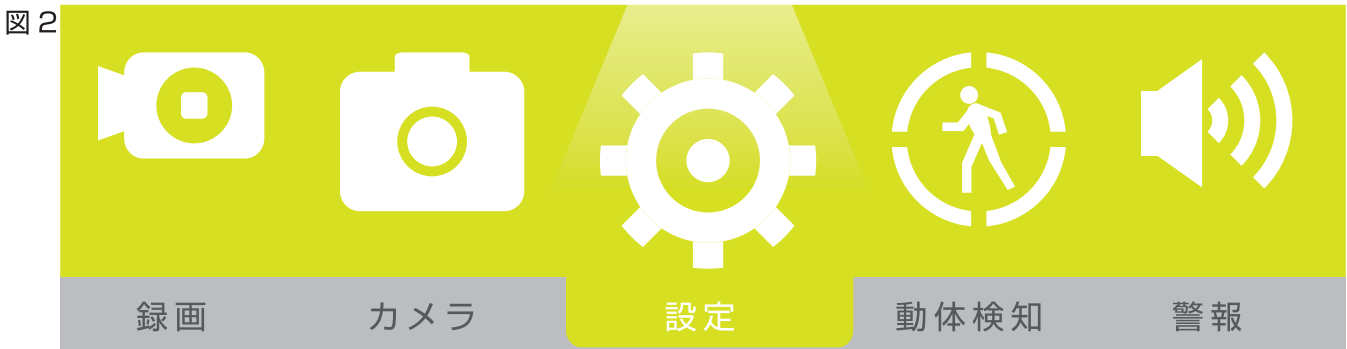


< 50Hz / 60Hz を選択する >

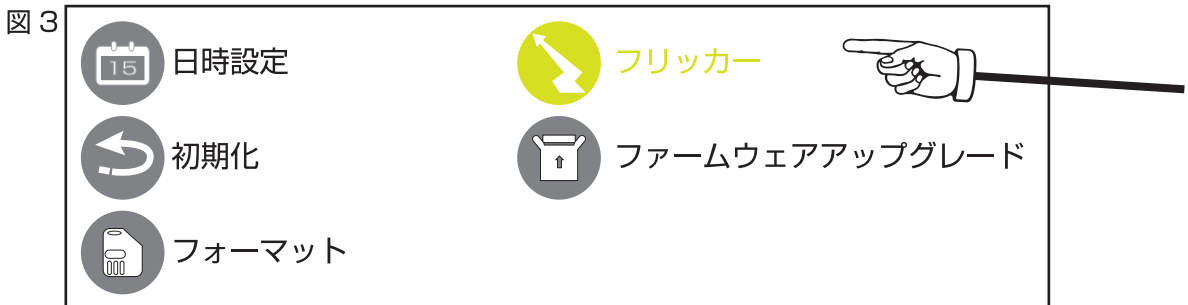
メニュー → 設定 → フリッカー



メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「設定」が中央にある状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「上下矢印」・「左右矢印」で「フリッカー」に移動します。

「フリッカー」が黄緑色になっている状態で「OK」を1回押します。下記の画面が表示されます。

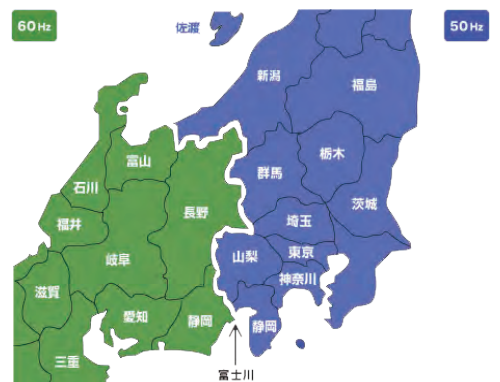


「上下矢印」でお住いの地域の” 50Hz” もしくは” 60Hz” を選択します。(初期設定は” 60Hz” です。)

「OK」を1回押すと、本体は” 50Hz” もしくは” 60Hz” に変更され [ 図 3 ] に戻ります。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

※ご使用の地域に適した周波数を選択ください。  
周波数が違ったまま使用すると、器具を傷めたり、十分に性能が発揮できない場合があります。  
50Hz：新潟県・群馬県・山梨県・静岡県富士川以东  
60Hz：富山県・長野県・静岡県富士川以西



長野県の一部市町村に 50Hz が混在しています。  
新潟県の一部市町村に 60Hz が混在しています。

注意)

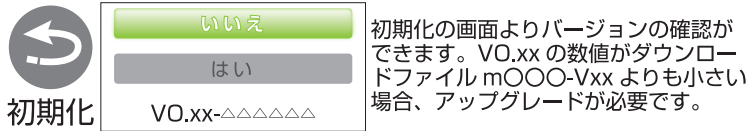
- ※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。
- ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。



< ファームウェアアップグレードをする ① >  
 メニュー → 設定 → ファームウェアアップグレード

「らくらくアイキャン」は、製品向上のため定期的にアップグレードを行います。  
 ファームウェアアップグレードをされる前に弊社ホームページ <http://www.n-sk.jp> より  
 「NS-9015WMS」 eye cam view を**フォーマット済みの別のSDカード**にダウンロード  
 してください。そのSDカードを挿入してアップグレードを行います。

《①アップグレードの前にご確認ください。》



《②アップグレードの前にご準備ください。》

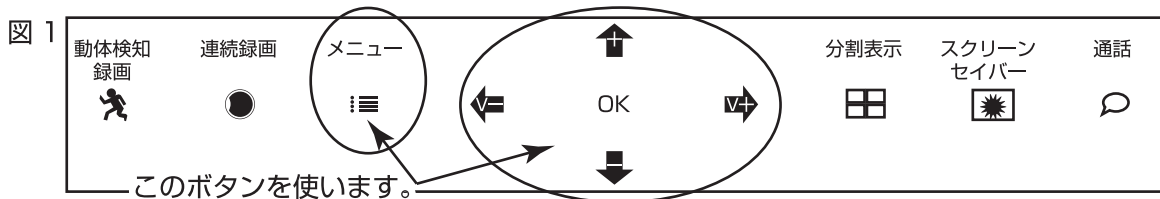
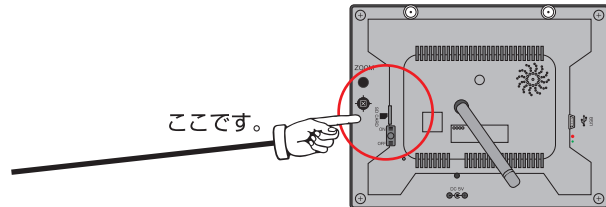
- ・インターネットに接続中の windows パソコン
- ・パソコンでフォーマットされた SD カード

《③ダウンロードしてください。》

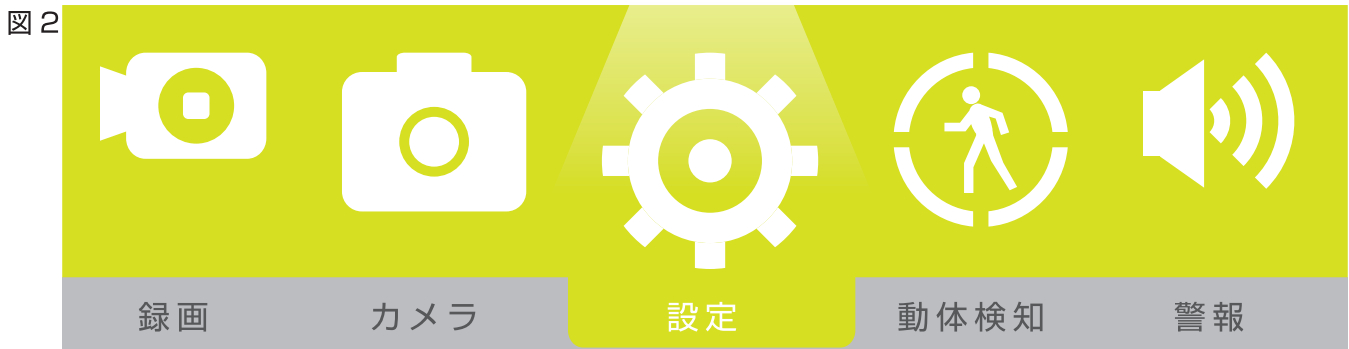
ダウンロードしたファイルをフォーマット済のSDカードに入れてください。

《④SDカードを挿入してください。》

録画・再生を停めて、挿入中のSDカードを抜きます。  
 アップグレードファイル「(m000-Vxx).bin」の  
 入ったSDカードを差し込みます。



メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「設定」が中央にある状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「上下矢印」・「左右矢印」で「ファームウェアアップグレード」に移動します。  
 「ファームウェアアップグレード」が黄緑色になっている状態で「OK」を1回押します。  
 次頁へ続きます。

注意)

- ※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。
- ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< ファームウェアアップグレードをする ② >  
 メニュー → 設定 → ファームウェアアップグレード

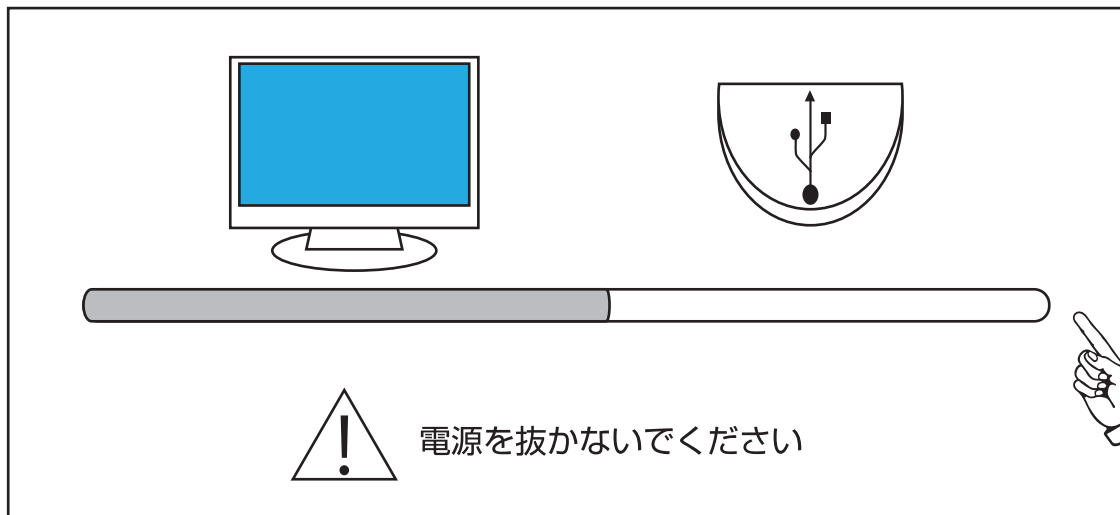
※必ず本体を電源接続状態 (AC アダプター接続)、電池残量が充分ある状態で行ってください。  
 ※アップグレードを行うと、設定は全て工場出荷時に戻ってしまいます。設定をされていた方はメモ等で設定方法を残してください。

「ファームウェアアップグレード」が黄緑色になっている状態で「OK」を 1 回押しました。下記の画面が表示されます。

▶ 「上下矢印」で「はい」に移動し、「OK」を 1 回押します。

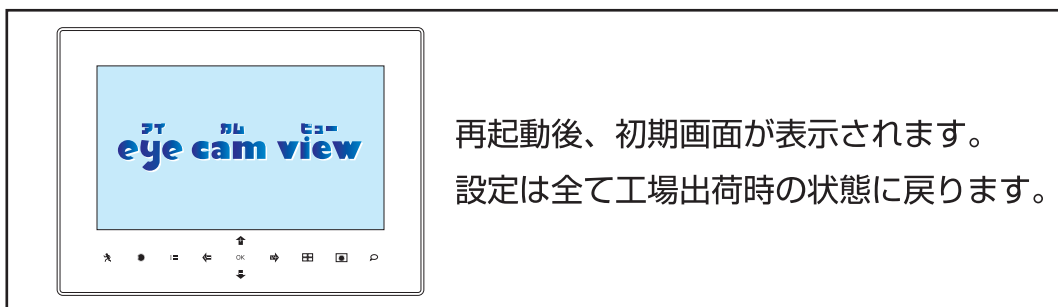


▼  
 下記図面が表示され、アップグレードが始まります。



▼  
 バーがいっぱいになるまで待ちます。  
 (バージョンによって異なりますが、2 分程かかります。)

▼  
 ファームウェアアップグレード成功



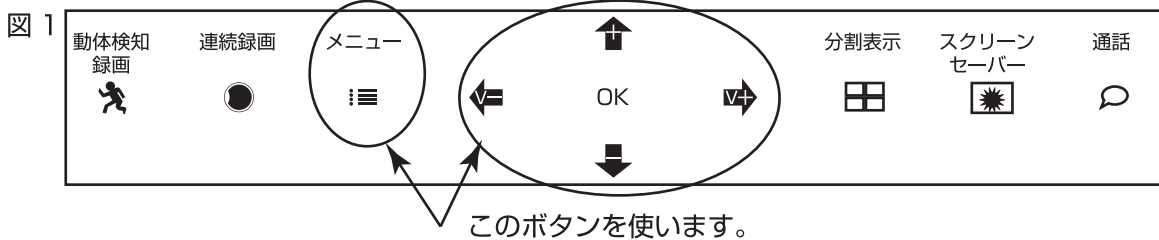
▼  
 ライブ映像に戻ると設定によっては録画が開始します。アップグレード用の SD カードを用意された場合は、一旦録画を停止してからアップグレード用の SD カードを抜いて、録画用の SD カードを挿してください。

注意)

- ※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。
- ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< 動体検知設定をする >  
 メニュー → 動体検知

ここでは映像の変化に対しての感度の設定を行います。(モーションセンサー)



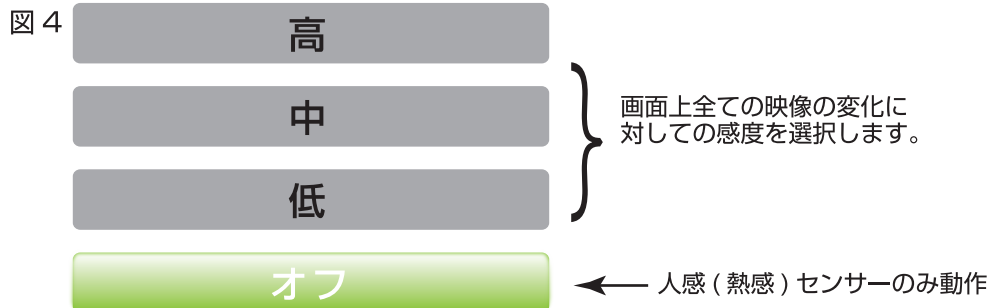
メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「V+(右矢印)」を1回押して「動体検知」を中央にします。  
 この状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



感度をつけたいカメラ 1～4 を「上下矢印」で選択し、「OK」を1回押します。  
 下記の画面 [ 図 4 ] が表示されます。



「上下矢印」で「高」「中」「低」「オフ」のいずれかを選択します。「OK」を押すと [ 図 3 ] に戻ります。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。(初期設定は「低」です)

※カメラの人感(熱感)センサーは常に働いています。人感(熱感)センサーのみを動作させたい時は「オフ」を選択してください。

※モーションセンサーのみでの録画はできません。また、夜間は人感(熱感)センサーのみ反応します。

※検知録画する場合、必ず前面パネルの「動体検知録画」ボタンを押して、画面右下に「」アイコンを表示してください。

※P24「Ⅳパネル基本操作 1. 動体検知録画」も合わせてご覧ください。

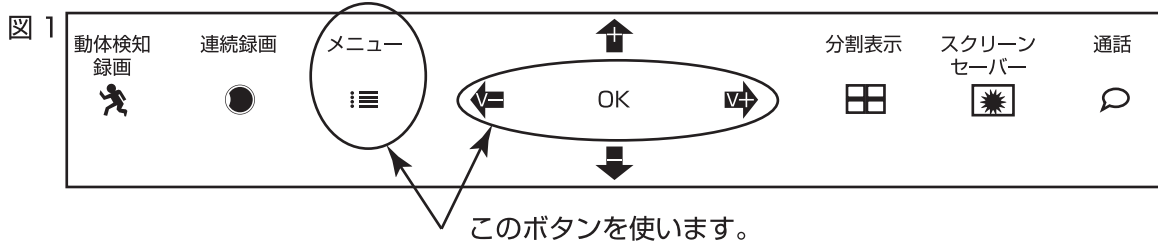
注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

## &lt; 警報を鳴らす &gt;

## メニュー → 警報

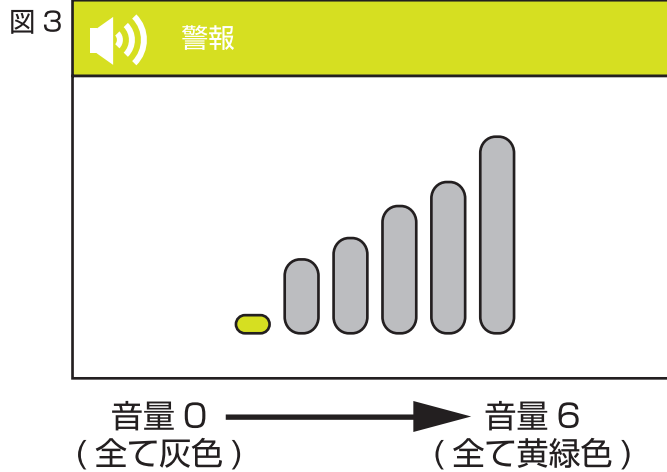


メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「V+(右矢印)」を2回押して「警報」を中央にします。この状態で「OK」を1回押します。

下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



警報の音量を0～6の中から「左右矢印」で選択し（「左右矢印」で移動する毎に音量が確認できます。）、「OK」を1回押します。ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。（初期設定は「オフ」です）

人感センサーは常に働いている為、動体検知感度、動体検知録画をオフにしても、人感センサーが反応すると警報音が鳴ります。（人感センサーはオフにはできません。）音を止めたいときは、「警報」をオフ（全て灰色）にしてください。（モニター画面に表示されるボリュームアイコンはカメラから聞こえる音量です。警報の音量とは関係ありません。）また、スクリーンセーバー実施中の場合、警報音とともに映像が表示されますが、数秒でスクリーンセーバーに戻ります。スクリーンセーバー中、シーケンシャル中は「カメラ未接続」の表示が出た場合も、警報が鳴ります。

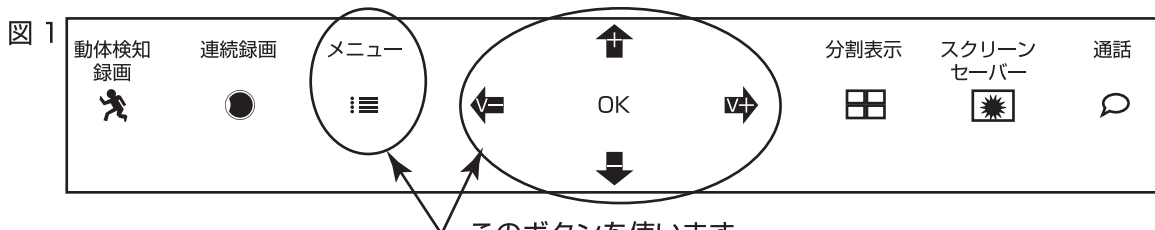
注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

## < 録画の設定をする① モーション録画時間 > メニュー → 録画 → モーション録画時間

モーション録画時間の設定は、動体検知録画が動き被写体の動きが止まった後の録画時間を設定します。  
モーション録画機能にはプリレコーディング機能も搭載しています。  
プリレコーディングとは、動きを検知してから 約 3 秒前後 前から録画する機能です。



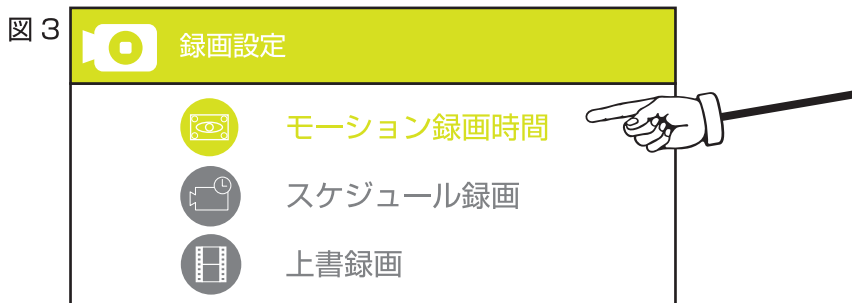
このボタンを使います。

メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「V-(左矢印) ボタン」を 2 回押して「録画」を中央にします。

この状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「モーション録画設定」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を 1 回押します。  
下記の画面 [ 図 4 ] が表示されます。



- 「上下矢印」で「15 秒」⇄「30 秒」⇄「1 分」を選択します。(初期設定は「15 秒」です。)
- 「OK」を 1 回押して [ 図 3 ] に戻ります。ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。
- ※録画中に再度検知すると、録画時間が延長されます。
- ※録画時間が 10 分を超える場合は自動的に 10 分毎のファイルに保存されます。
- ※モーションセンサーのみでの録画はできません。また、夜間撮影は、人感センサーのみになります。
- ※必ず前面パネルの「動体検知録画」ボタンを押して設定して下さい。
- ※P24「IVパネル基本操作 1. 動体検知録画」も合わせてご覧ください。

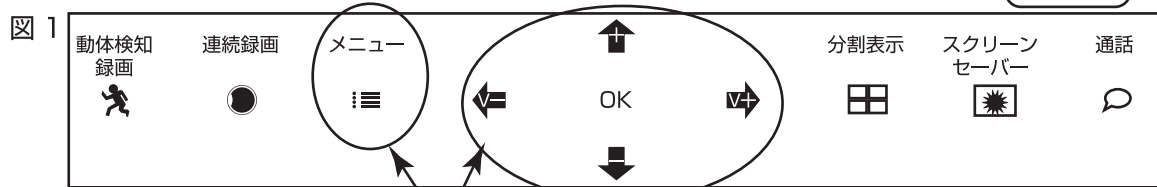
注意)

- ※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。
- ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

## ＜録画の設定をする② スケジュール録画その 1-1＞ メニュー → 録画 → スケジュール録画

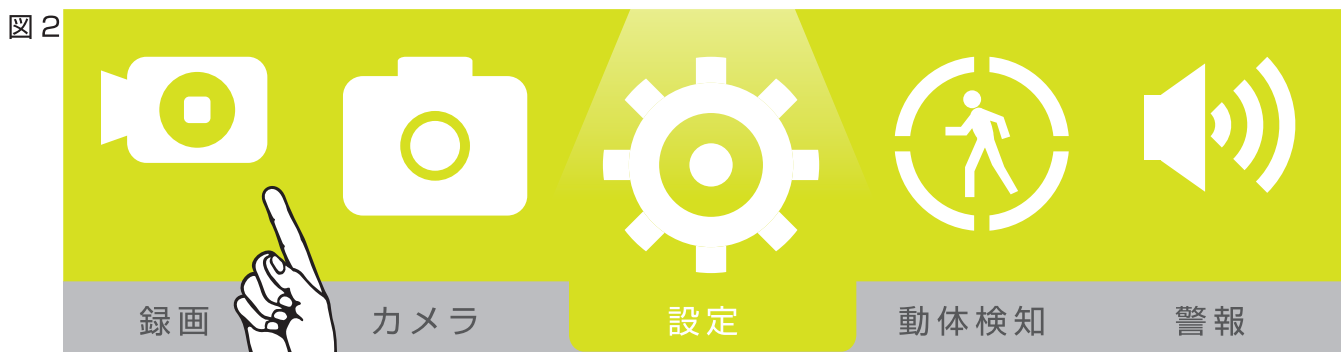
スケジュール録画の設定は、日時、曜日ごとに「録画する」「録画しない」を設定できます。  
 (\*スケジュール録画設定時間内は、動体検知録画設定をしても常時録画になります。  
 スケジュール録画設定時間外は、動体検知録画設定が有効になります。)

※スケジュール録画中でも「連続録画ボタン」を押すと強制終了になり、録画が止まります。  
 必ず REC マークをご確認ください。



このボタンを使います。

メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「V- (左矢印)」を2回押して「録画」を中央にします。

この状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「下矢印」で移動し「スケジュール録画」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を1回押します。

下記の画面 [ 図 4: 各曜日のスケジュール表 ] が表示されます。

本日の曜日が表示されます。

図 4: 各曜日のスケジュール表



注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< 録画の設定をする② スケジュール録画その 1-2 >  
 メニュー → 録画 → スケジュール録画

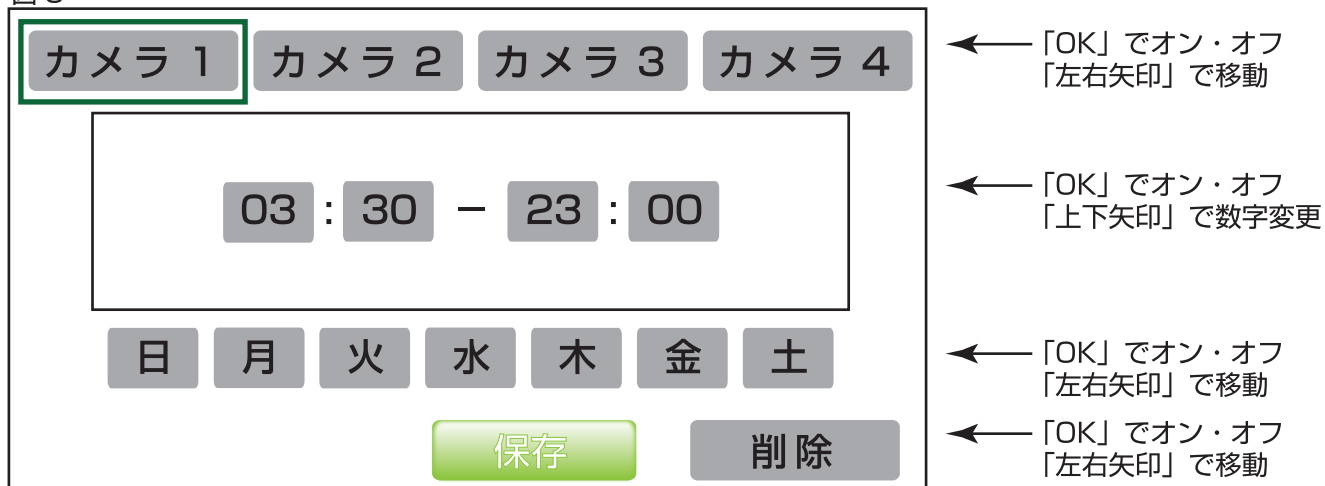
図 4：各曜日のスケジュール表



- 1 「下矢印」で「変更」に移動します。  
 「変更」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を1回押すと「カメラ」  
 「時間」「曜日」を変更する画面に変わります。下図 [ 図 5 ] が表示されます。



図 5



- 2 「V+(右矢印)」で緑の枠が移動します。設定したい箇所が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を1回押す、もしくは「上下矢印」で数字を変更し、「V+(右矢印)」で移動します。  
 次頁 [ 図 6 ] 参照 (戻る場合は「V-(左矢印)」を押してください。)

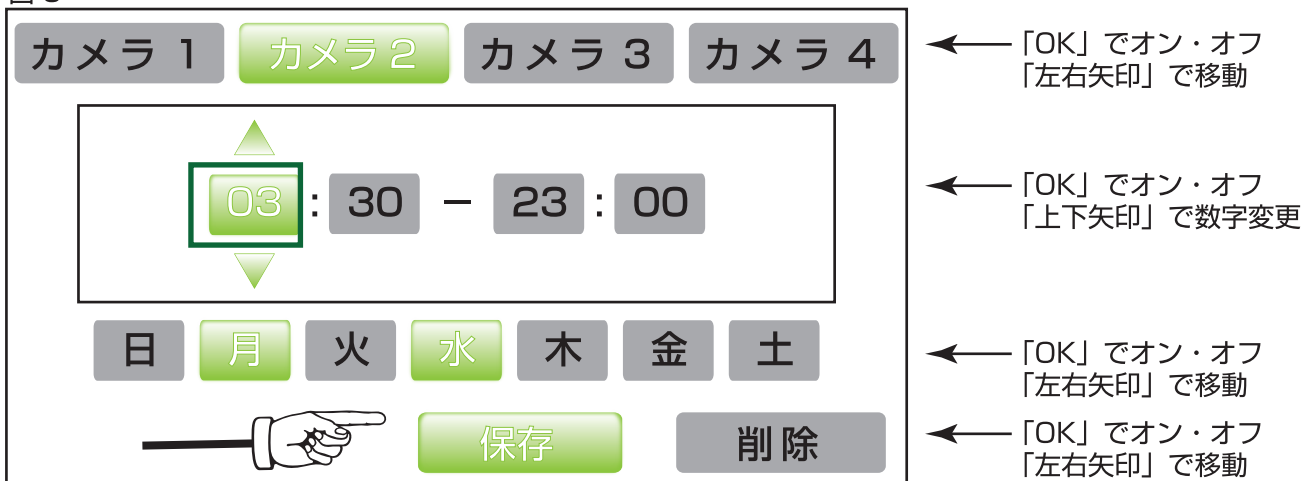
注意)  
 ※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。  
 ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。



< 録画の設定をする② スケジュール録画その 1-3 >  
 メニュー → 録画 → スケジュール録画

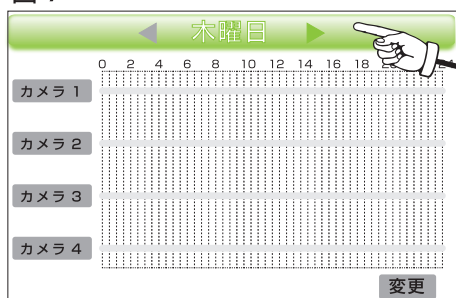
例) 「カメラ 2」のみ、「月曜日と水曜日の午前 03 時 30 分～ 23 時 00 分」に録画されるように設定

図 6



3 「V+(右矢印)」で移動し、図 6 の様に設定します。「保存」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を 1 回押します。今日の曜日に戻ります。

図 7



4 今日の曜日が黄緑色になっている状態で「左右矢印」を押すと、曜日が「月曜日」⇔「火曜日」⇔「水曜日」⇔「木曜日」⇔「金曜日」⇔「土曜日」⇔「日曜日」と移動します。

5 変更した「月曜日」と「水曜日」の画面にして、それぞれ午前 03 時 30 分から午後 23 時 00 分まで、「カメラ 2」のスケジュールが設定されていることを確認します。[図 8] 参照

図 8

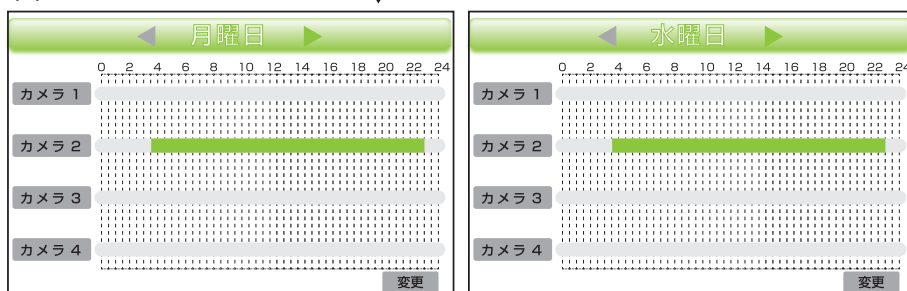
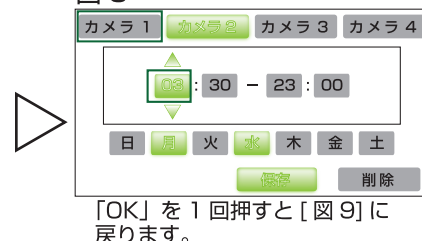
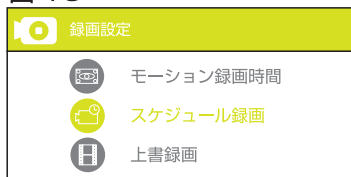


図 9



「OK」を 1 回押すと [図 9] に戻ります。

図 10



6 メニューボタンを押して、[図 10]に戻ります。これで、スケジュール設定は完了です。ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

注意)  
 ※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。  
 ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。



< 録画の設定をする② スケジュール録画その 2-1 >  
 メニュー → 録画 → スケジュール録画

削除

例) 「カメラ 2」のみ、「月曜日と水曜日の 03 時 30 分～ 23 時 00 分」に録画されるように設定されているスケジュールを「水曜日の 10 時 30 分～ 15 時 00 分」が不要になったため、削除します。

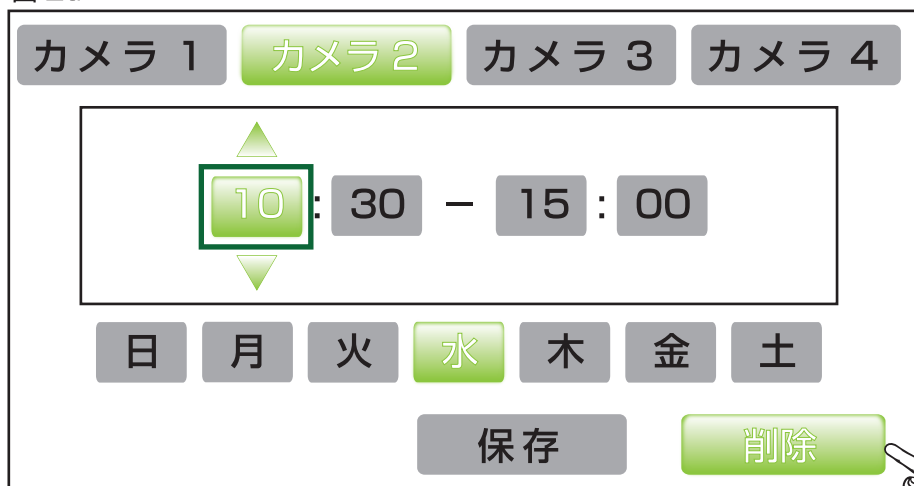
図 1d : 各曜日のスケジュール表



1

「メニュー」→「録画」→「スケジュール録画」と押して、  
 [図 1d : 各曜日のスケジュール表] まで進みます。  
 「下矢印」で「変更」に移動します。  
 「変更」が黄緑色になっていることを確認します。  
 「OK」を 1 回押します。  
 「カメラ」「時間」「曜日」を変更する画面に変わるので、  
 [図 2d] の様に設定します。

図 2d



← 「OK」でオン・オフ  
 「左右矢印」で移動

← 「OK」でオン・オフ  
 「上下矢印」で数字変更

← 「OK」でオン・オフ  
 「左右矢印」で移動

← 「OK」でオン・オフ  
 「左右矢印」で移動

「削除」を選択します。

2

「V+(右矢印)」で緑の枠を移動し、削除したい箇所を変更します。

「OK」を 1 回押す、もしくは上下ボタンで削除したい時間の数字を変更します。

前回設定した項目が黄緑色になっているので、削除しない部分は設定をオフ(灰色)にします。

変更する箇所のみが黄緑色になっていることを確認し、「V+(右矢印)」で「削除」まで移動します。

[図 2d 参照(戻る場合は「V-(左矢印)」を押してください。)]

「削除」が黄緑色になったことを確認し、「OK」を 1 回押します。

次頁 [図 3d] 今日の曜日が表示されます。

注意)

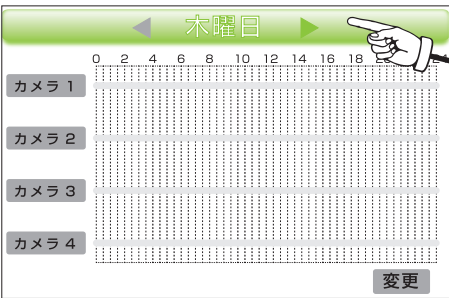
※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< 録画の設定をする② スケジュール録画その 2-2 >  
 メニュー → 録画 → スケジュール録画

削除

図 3d



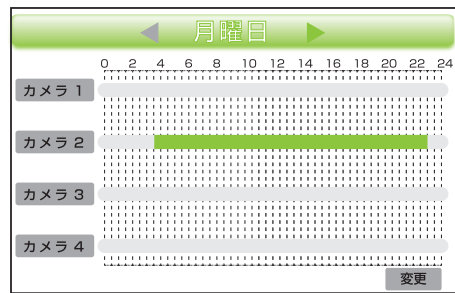
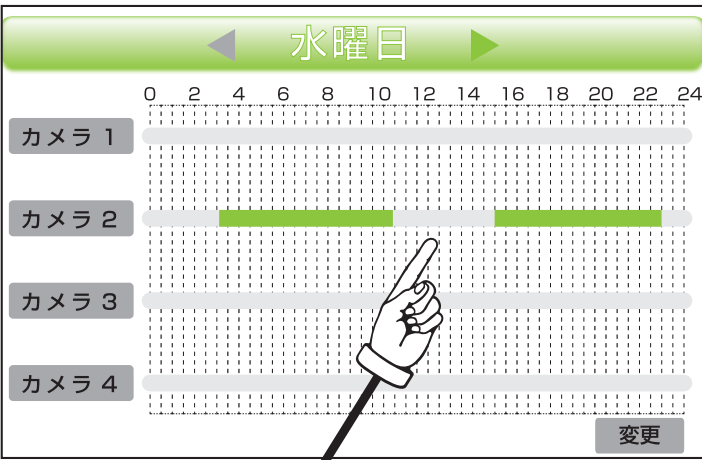
3

今日の曜日が黄緑色になっている状態で「左右矢印」を押すと、曜日が「月曜日」⇄「火曜日」⇄「水曜日」⇄「木曜日」⇄「金曜日」⇄「土曜日」⇄「日曜日」と移動します。

4

変更した「水曜日」の画面にして、10時30分から午後15時00分まで、「カメラ2」のスケジュールが削除されていることを確認します。[図4d]

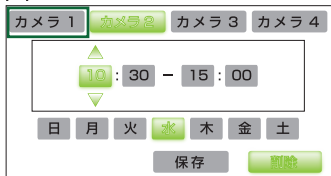
図 4d



削除していない月曜日は変わりません。

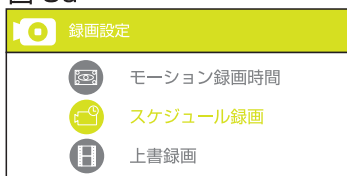
[図2d]で設定した通りに削除されました。

図 5d



「OK」を1回押すと[図5d]に戻ります。

図 6d



5

メニューボタンを押して、[図6d]に戻ります。これで、スケジュール一部削除は完了です。ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

※全ての設定を完全に削除したい場合は、右図のように全て緑色(時間は0時~24時)になるよう設定してください。また初期化という方法もありますが、(日時設定、ペアリング、カメラ表示を除く)他の設定も初期化されてしまいます。



注意)  
 ※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。  
 ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< 録画の設定をする② スケジュール録画その 3-1 >  
 メニュー → 録画 → スケジュール録画

追加

例) 「カメラ 2」のみ、「月曜日と水曜日の 03 時 30 分～ 23 時 00 分」に録画されるように設定されているスケジュールを「水曜日の 10 時 30 分～ 15 時 00 分」が不要になったため削除しましたが、「水曜日の 12 時～ 13 時」まで必要になったため追加します。

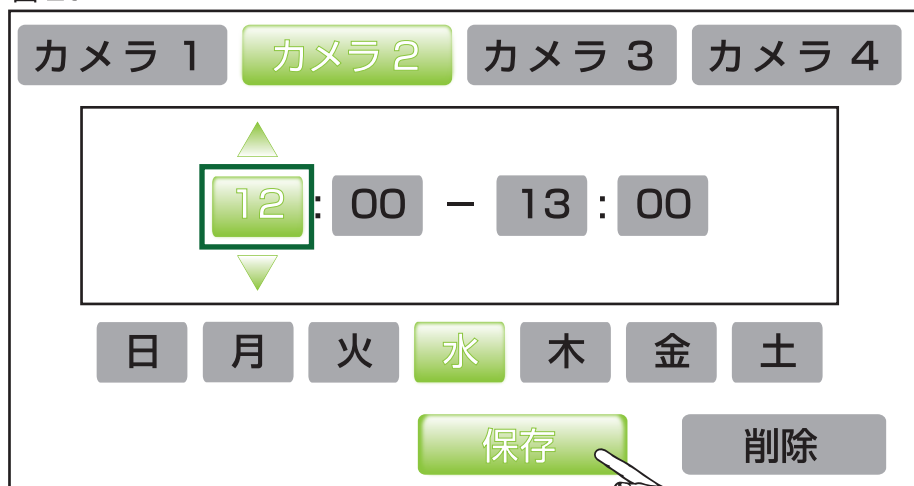
図 1t: 各曜日のスケジュール表



1

「メニュー」→「録画」→「スケジュール録画」と押して、  
 [図 1t: 各曜日のスケジュール表] まで進みます。  
 「下矢印」で「変更」に移動します。  
 「変更」が黄緑色になっていることを確認します。  
 「OK」を 1 回押します。  
 「カメラ」「時間」「曜日」を変更する画面に変わるので、  
 [図 2t] の様に設定します。

図 2t



← 「OK」でオン・オフ  
「左右矢印」で移動

← 「OK」でオン・オフ  
「上下矢印」で数字変更

← 「OK」でオン・オフ  
「左右矢印」で移動

← 「OK」でオン・オフ  
「左右矢印」で移動

「保存」を選択します。

2

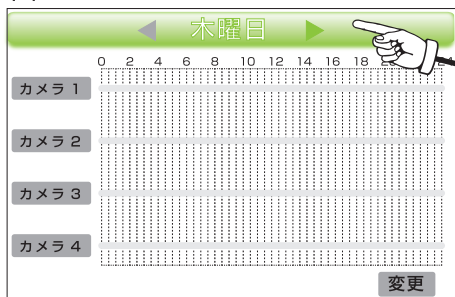
「V+(右矢印)」で緑の枠を移動し、保存したい箇所を変更します。  
 「OK」を 1 回押す、もしくは上下ボタンで追加したい時間の数字を変更します。  
 変更する箇所のみが黄緑色になっていることを確認し、「V+(右矢印)」で「保存」まで移動します。  
 [図 2t] 参照 (戻る場合は「V-(左矢印)」を押してください。)  
 「保存」が黄緑色になったことを確認し、「OK」を 1 回押します。  
 次頁 [図 3t] 今日の曜日が表示されます。

注意)  
 ※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。  
 ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< 録画の設定をする② スケジュール録画その 3-2 >  
 メニュー → 録画 → スケジュール録画

追加

図 3t



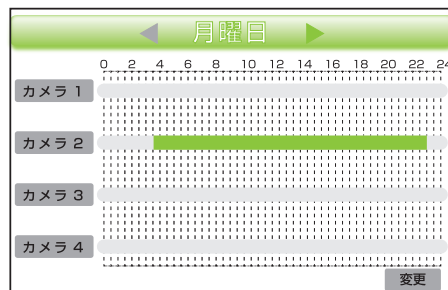
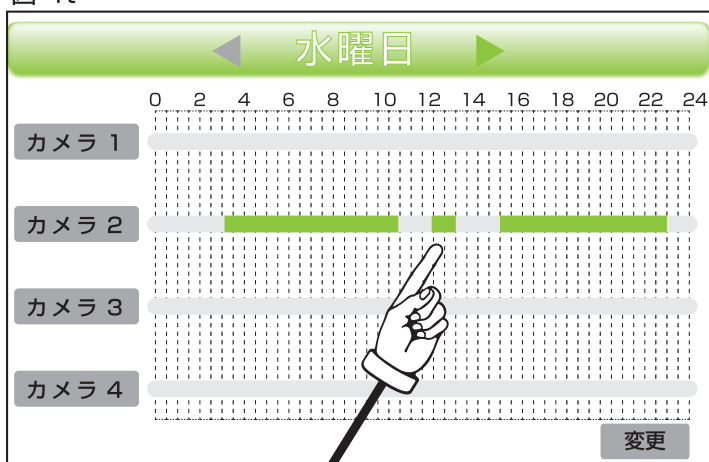
3

今日の曜日が黄緑色になっている状態で「左右矢印」を押すと、曜日が「月曜日」⇄「火曜日」⇄「水曜日」⇄「木曜日」⇄「金曜日」⇄「土曜日」⇄「日曜日」と移動します。

4

変更した「水曜日」の画面にして、12時00分から13時00分まで、「カメラ2」のスケジュールが追加されていることを確認します。[図4t]

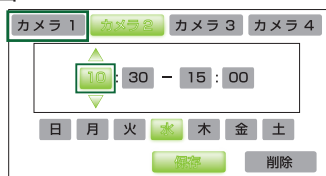
図 4t



追加していない月曜日は変わりません。

[図2t]で設定した通りに追加されました。

図 5t



「OK」を1回押すと[図5t]に戻ります。

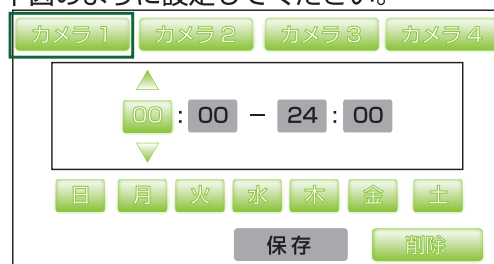
図 6t



5

メニューボタンを押して、[図6t]に戻ります。これで、スケジュールの追加は完了です。ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

※全ての設定を完全に削除したい場合は、下図のように設定してください。



注)

一度でも設定をして緑色になっている箇所は、削除をしないと設定変更されません。例えば、3時30分から10時30分まで設定済の場合、9時30分から24時に変更しようと設定しても、結果3時30分から24時までの設定に変わるだけです。この場合、最初に必ず3時30分から9時30分まで削除してください。

注意)

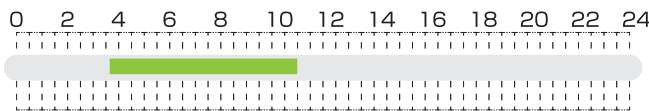
- ※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。
- ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< 録画の設定をする② スケジュール録画その 4 >  
 メニュー → 録画 → スケジュール録画

補足

一度でも設定をして緑色になっている箇所は、削除をしないと設定変更されません。  
 例えば、カメラ 2 のみ、月曜日の 3 時 30 分から 10 時 30 分まで設定済の場合、  
 9 時 30 分から 24 時に変更しようと設定しても、結果 3 時 30 分から 24 時までの  
 設定に変わるだけです。この場合、最初に必ず 3 時 30 分から 9 時 30 分まで削除  
 してください。

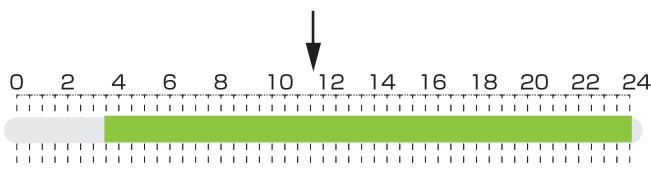
最初の設定



失敗例

図 9

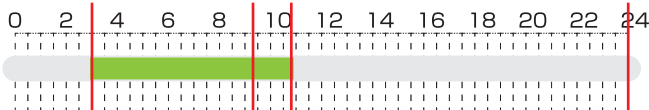
The screenshot shows a menu with four camera options: カメラ 1, カメラ 2 (highlighted in green), カメラ 3, and カメラ 4. Below them is a time selection interface with a central display showing 09:30 - 24:00. The '月' (Month) button is highlighted. At the bottom are '保存' (Save) and '削除' (Delete) buttons. To the right, arrows point to these elements with instructions: '「OK」でオン・オフ「左右矢印」で移動' for camera selection, '9 時 30 ~ 24 時と入力するとします。' for the time input, and another '「OK」でオン・オフ「左右矢印」で移動' for the day selection.



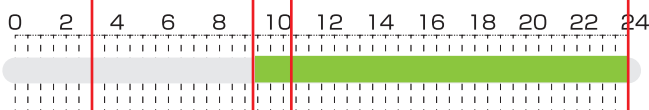
結果：終了時刻 23 時までの設定は 24 時までに変更されましたが、開始時刻  
 が 3 : 30 の設定のまま変更されていません。

考え方として・・・

設定済の録画時間



変更したい録画時間



①この分を削除する

②この分を追加する

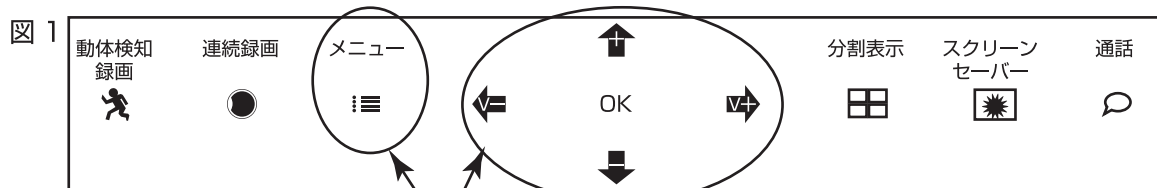
このように①、②の 2 回の作業が必要となります。

注意)  
 ※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。  
 ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

## < 録画の設定をする③ 上書録画 >

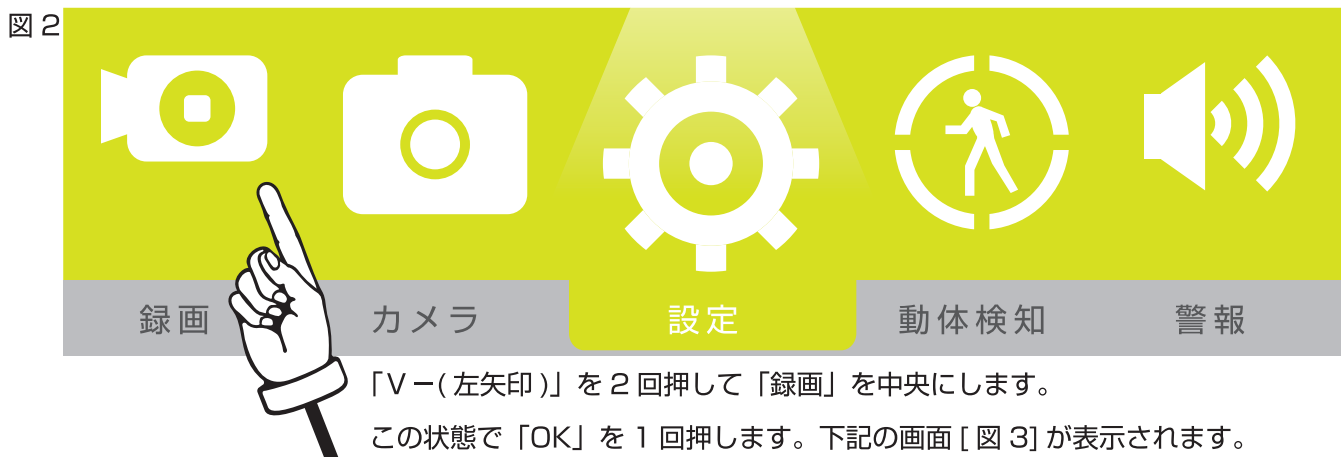
### メニュー → 録画 → 上書録画

上書き録画の設定は、SDカードの残量が無くなってしまった時に、最も古い録画データファイルを順に消し、新しいデータファイルを随時録画する事ができる機能です。



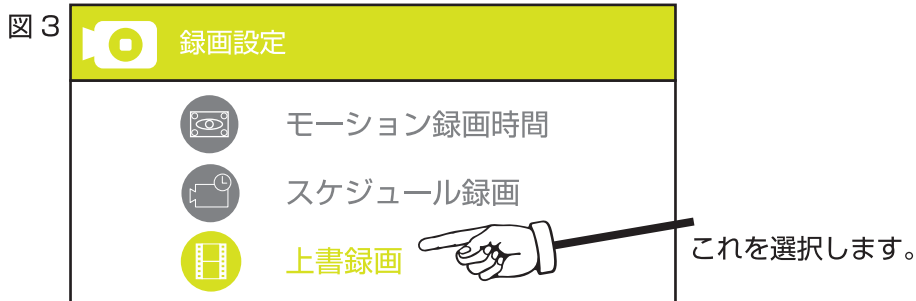
このボタンを使います。

メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「V- (左矢印)」を2回押して「録画」を中央にします。

この状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「下矢印」で「上書録画」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を1回押します。

下記の画面 [ 図 4 ] が表示されます。



「下矢印」で「はい」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を1回押します。

これで上書き録画されるようになり、[ 図 3 ] に戻ります。(初期設定は「いいえ」です。)

※上書き設定を「はい」にしていると、「連続録画」が設定できます。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

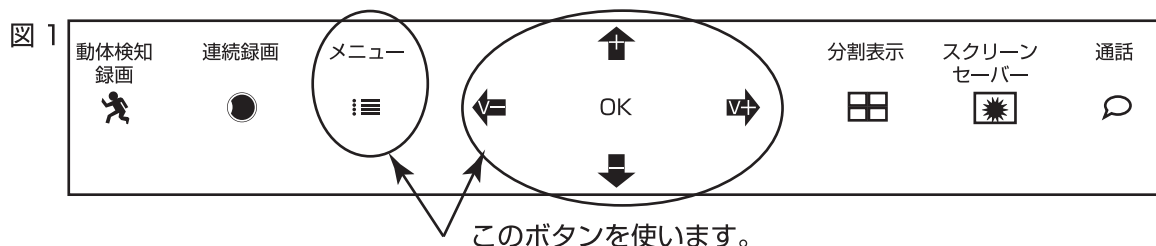
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

## ＜カメラの設定をする① ペアリングその1＞ メニュー → カメラ → ペアリング

※初期設定は  
ペアリング済みです。

ペアリングとは、モニターとカメラをワイヤレスで接続することです。

※新しいカメラやカメラ映像の配置を変えたいときは、カメラ番号を選択して設定することができます。



メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



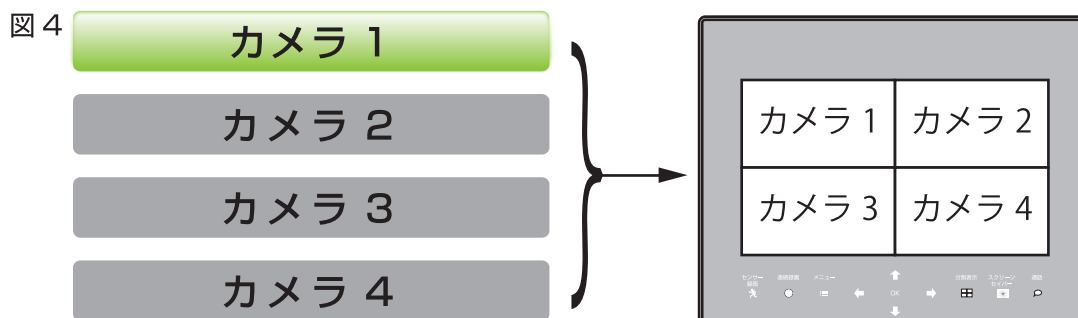
「V- (左矢印)」を1回押して「カメラ」を中央にします。

この状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「ペアリング」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を1回押します。

下記の画面 [ 図 4 ] が表示されます。



※ペアリングで選択したカメラは、  
上図の並びになります。

注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。



## < カメラの設定をする① ペアリングその2 > メニュー → カメラ → ペアリング

「上下矢印」でペアリングしたいカメラを「カメラ1」～「カメラ4」より選択し「OK」します。

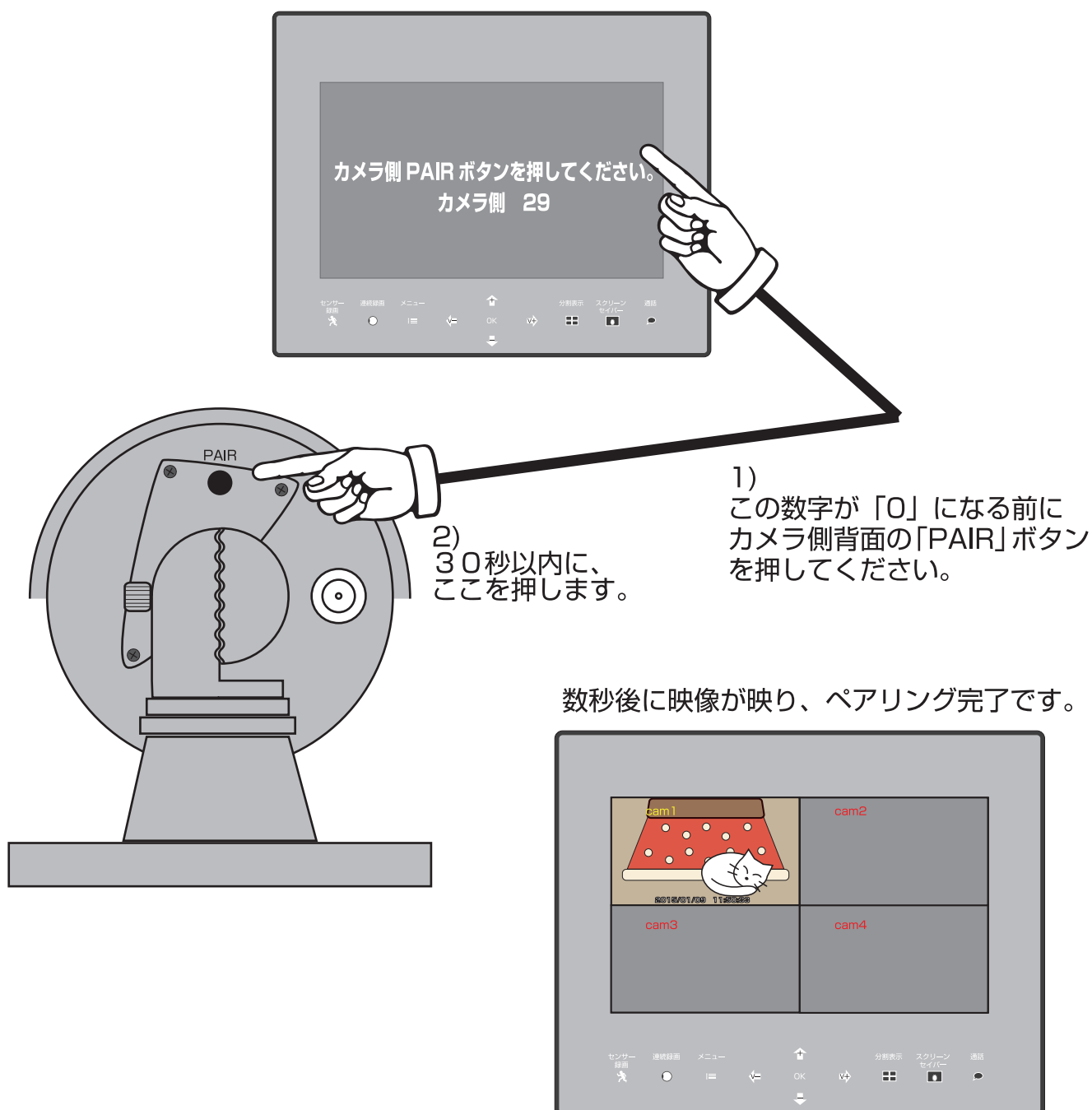
カメラ側 PAIR ボタンを押してください。のメッセージとともに、30秒のカウントダウンが始まります。

この30秒の間にカメラの背面にある PAIR ボタンを押してください。

押した後数秒で、ライブ映像が映ります。

※カメラ映像の配置を変えたいときは、カメラ番号を選択し、同じ動作を行ってください。

[前頁図4]よりカメラ番号を選択して「OK」を押すとカウントダウンが始まります。



注意)

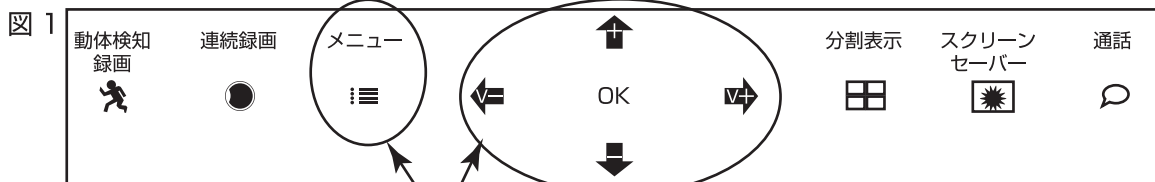
※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。



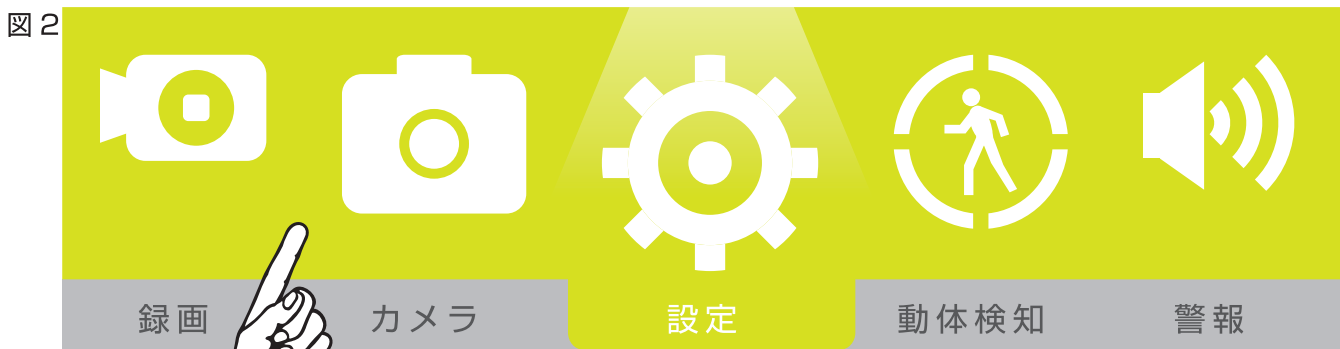
## < カメラの設定をする② カメラ表示 > メニュー → カメラ → カメラ表示

カメラ表示の設定は、ペアリング済みのカメラも「オン/オフ」にすることで「表示/非表示」にできます。  
1～2台のカメラが「オン」の場合は「2分割画面」もしくは「1画面」になります。  
3～4台のカメラが「オン」の場合は「4分割画面」もしくは「1画面」になります。  
(図4のような設定の場合は「2分割画面」もしくは「1画面」になります。)



このボタンを使います。

メニューボタンを押すと、下記の画面 [図2] が表示されます。



「V-(左矢印)」を1回押して「カメラ」を中央にします。  
この状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [図3] が表示されます。



「下矢印」を1回押し「カメラ表示」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を1回押します。  
下記の画面 [図4] が表示されます。



「オフ」設定時は、録画されません。

「左右矢印」で「オン」⇄「オフ」切り替えをします。「オン/オフ」選択後「OK」すると、「しばらくお待ちください。」のメッセージが表示され、[図3]の画面に戻ります。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。(初期化をしてもお客様の設定内容は維持されます。)

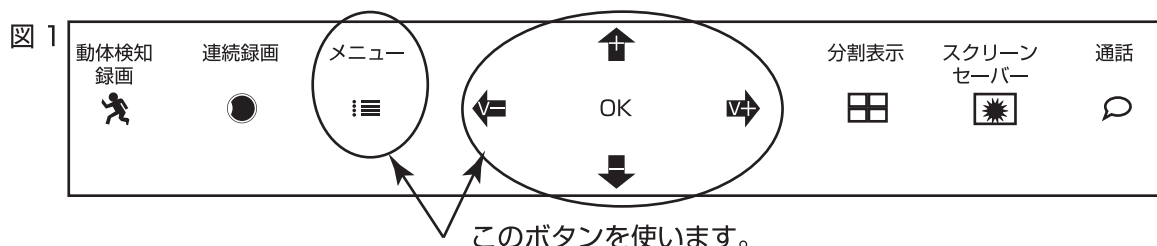
注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

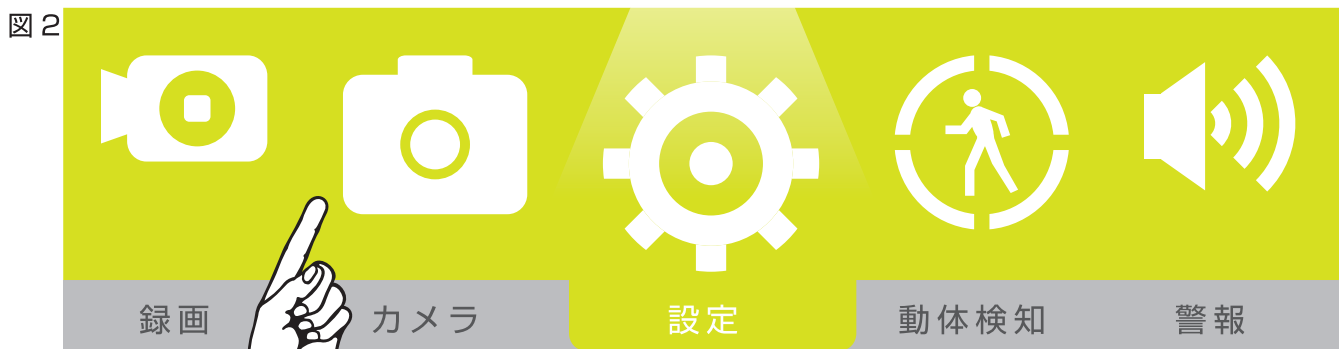
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< カメラの設定をする ③ 明るさ >  
 メニュー → カメラ → 明るさ

明るさの設定は、モニターの角度調整をしても画面が見にくい時などに、映像の映り具合を調整するものです。



メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「V- (左矢印)」を1回押して「カメラ」を中央にします。

この状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「下矢印」を2回押し「明るさ」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を1回押します。

下記の画面 [ 図 4 ] が表示されます。



「左右矢印」で「1(暗い)」⇄「6(明るい)」を選択し「OK」します。

(初期設定は「3」です。) ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

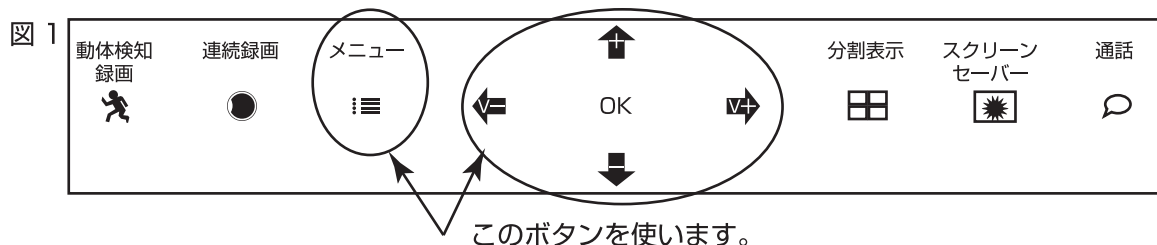
注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

## ＜カメラの設定をする④ 解像度その1＞ メニュー→カメラ→解像度

解像度の設定は、フル画面で約30万画素のVGA出力と、ワイド画面で約100万画素のHD出力の二通りが選択できます。(ライブ映像のズーム機能は、VGAのみです。)



メニューボタンを押すと、下記の画面 [ 図 2 ] が表示されます。



「V- (左矢印)」を1回押して「カメラ」を中央にします。

この状態で「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 3 ] が表示されます。



「上矢印」を1回押し「解像度」が黄緑色になっていることを確認し、

「OK」を1回押します。下記の画面 [ 図 4 ] が表示されます。(初期設定は「VGA」です。)



注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

## ＜カメラの設定をする④ 解像度その2＞ メニュー → カメラ → 解像度

VGA、HD では録画可能時間もそれぞれ異なります。HD 解像度で設定すると、パソコンにて録画再生した場合、より鮮明で綺麗な映像で再生ができますがフレーム数は最大 15 フレームの為、VGA よりカクカクした動画になり、録画時間は VGA より短くなります。

下記 VGA、HD の特徴・比較表を参考にお好みに合わせて選択してください。

### VGA、HD の特徴

解像度	映像	動画の滑らかさ	目安録画時間 カメラ 1 台、SD64GB の場合
VGA	30 万画素相当	最大 30fps	165 時間
HD	100 万画素相当	最大 15fps	72 時間

※カメラの台数に比例して録画時間数が減ります。(フレーム数も減ります。また、フレーム数は環境によっても変動します。)

### HD、VGA の比較

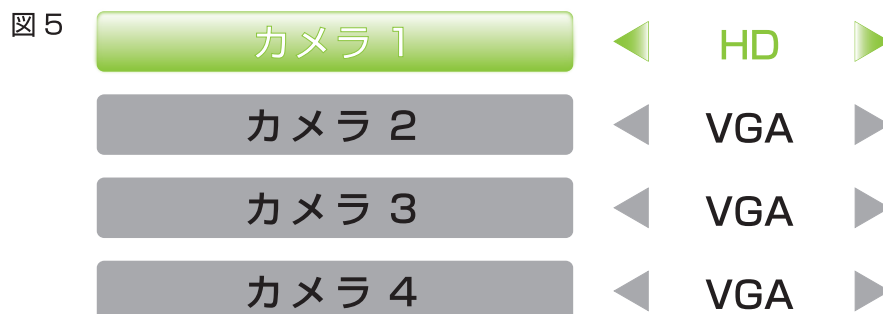
○映像の綺麗さ・鮮明さ※: HD > VGA

○動画の滑らかさ: HD < VGA

○録画の可能時間: HD < VGA

※(パソコンで再生すると、より違いがはっきりです)

### VGA と HD の映像の違い



「左右矢印」で「VGA」⇔「HD」を選択し「OK」します。図 3 の画面に戻ります。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

注意)

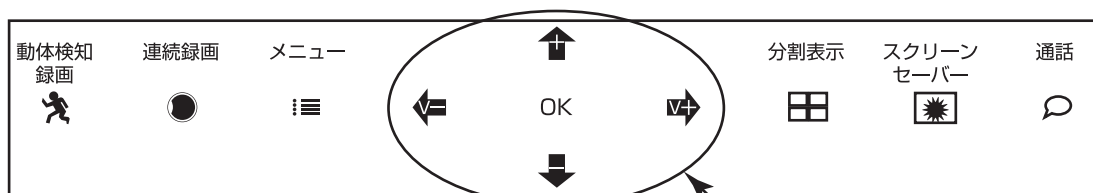
※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

## IV. パネル基本操作 4. 再生

### 再生する その 1

※再生中は録画はされません。



このボタンを使います。

「OK ボタン」を押して再生画面 [ 図 1 ] を表示します。

最終録画日が **緑の枠** で囲われています。録画データのある日には、黄緑色で塗られています。



- 1** 表示されている年月以外の日付を再生したい場合は、「上矢印」もしくは「V+(右矢印)」で **緑の枠** を「△ 201X X月 ▽」に移動します。(現在のペーであれば、再生したい日付の上で「OK」します。)  
再生したい年月を選択します。(「上矢印」：進む・「下矢印」：戻る)  
「年月」の文字が緑色に変わったのを確認し「OK」を押します。

- 2** 「V+(右矢印)」もしくは、「V-(左矢印)」で再生したい「カメラ番号」を選択します。  
【再生リスト (P51 参照) に、選択したカメラの番号のみがリストアップされます。】



3ヶまで選択可能 (4つ目を選択すると自動的に全カメラが選択されます。)

「上下矢印」で選択した「カメラ番号」が緑色に変わったのを確認し、「OK」を押し設定します。<sup>※1</sup>  
(移動は必ず「左右矢印」で行います。「上下矢印」では、横や上下に移動しません。)

※1: 「カメラ番号」の設定を変更・取消する場合

設定済の「カメラ番号」の上で「OK」を押した後に「上下矢印」を押すと緑色が消え、もう一度「OK」を押すと設定解除が確定されます。

- 3** 「左右矢印」で移動し、再生可能な日付 (黄緑色) を選択し「OK」を押します。

**4 分割もしくは 2 分割表示での再生はできません。**

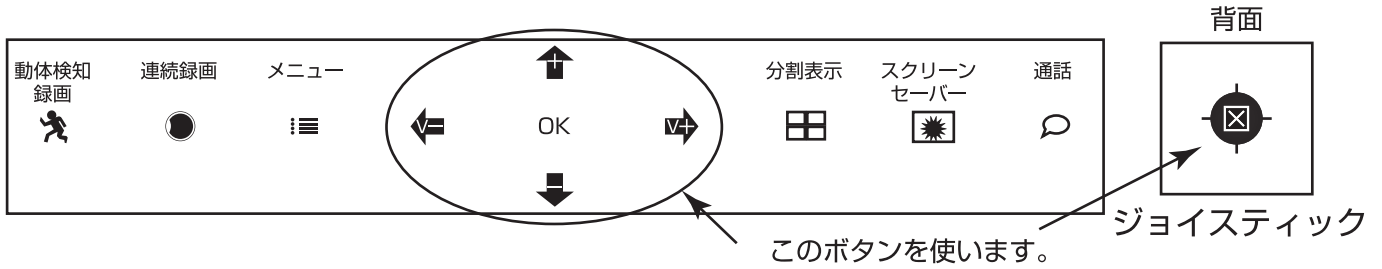
注意)

※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。

※「再生」の画面のみ、操作しない限り自動で切り替わりません。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

再生する その2



[図2]の画面に切り替わります。



「上下矢印」で赤枠を移動し、ご覧になりたいファイルを選択し「OK」を押します。

録画された映像、次頁の[参考図]が表示されます。

**再生リストの説明**

<ファイル名>  
録画の開始時間  
「-1」は、  
カメラ番号です

-1: カメラ 1  
-2: カメラ 2  
-3: カメラ 3  
-4: カメラ 4

<時間>  
録画の開始時間

「上下矢印」で  
上下に移動し、  
ファイルを選択し  
「OK」します

<ページ>  
「001/036」とは、  
36ページある内の  
1ページ目です  
スティックでページを  
スキップできます

<使用：/合計：>  
「3051MB/60891MB」とは、  
60891MBが最大のSDカード中の  
3051MBを使用済みです

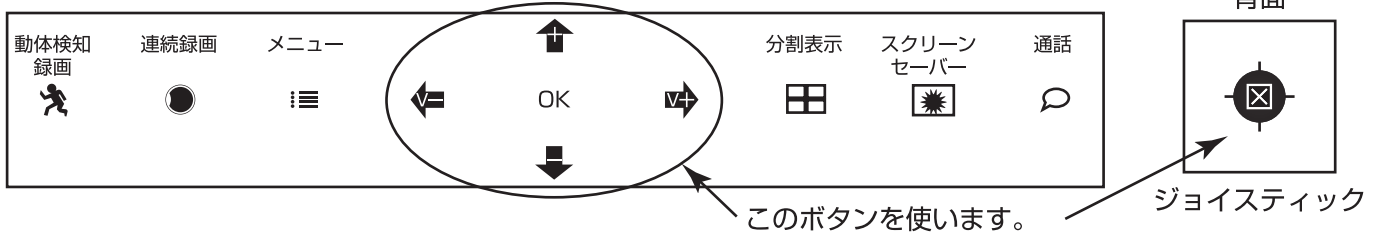
注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

# IV. パネル基本操作 4. 再生

## 再生する その3



◀ ▶	音声ボリューム選択
↑ ↓	↑ 一時停止⇄再生    ↓ 停止
左 ⊗ 右	停止時：前後のファイルへ移動
	再生時：巻戻し（左）×1×2×4×8×16
	再生時：早送り（右）×2×4×8×16
	再生リスト時：前後のページ移動

※モニターを見ながらスティックを動かした場合の「左右」で記載しております。

[参考図]

再生時間      トータル録画時間      ここに表示される記号について

00:00:00 / 00:10:00

135033-1

ファイル名

2015/03/05 13:50:33

録画日時

▶	再生
▶	一時停止
■	停止
◀◀ 1×	巻戻し
◀◀ 2×	2倍速巻戻し
◀◀ 4×	4倍速巻戻し
◀◀ 8×	8倍速巻戻し
◀◀ 16×	16倍速巻戻し
▶▶ 2×	2倍速早送り
▶▶ 4×	4倍速早送り
▶▶ 8×	8倍速早送り
▶▶ 16×	16倍速早送り

### 録画ファイル時間について

#### ①動体検知録画の場合

モーション録画時間で設定した「15秒」「30秒」「1分」で選択したファイル時間になります。  
 ただし途中で再生ボタンを押した録画データファイルは、それ以下のファイル時間になる場合もあります。  
 また、「再生リストのファイル名・時間」と「再生画面中央に表示されている開始時間」は、異なります。  
 画面中央の時刻：プリレコーディングの開始時刻

ファイル名・時間：動きを感知した瞬間の時刻

※プリレコーディング再生中は、音声がリピートされたり映像が若干乱れることがあります。

#### ②連続録画もしくはスケジュール録画で、長時間録画設定した場合

最大10分前後のファイルになります。

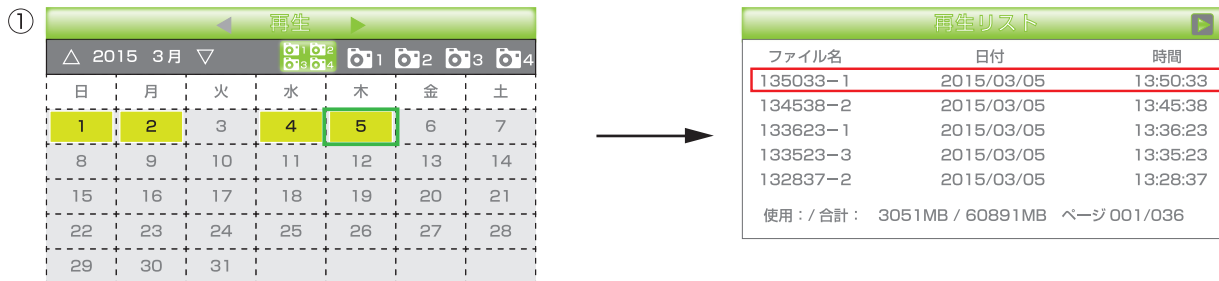
注意)

※操作がないと、約1分でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。


### 再生する その4 録画データファイルを削除する

①「OK」ボタンを押します。カレンダーより録画されている日にちを選択し「OK」します。再生リストを開きます。



②再生リストの「赤枠」を「上下矢印」で移動します。（「左右矢印」でページ移動ができます。）

③削除したいファイルを囲みます。

④  を押します。

⑤

このファイルを削除しますか？

>> いいえ

はい

⑥「上下矢印」で「はい」を選択し「OK」します。

⑦「しばらくお待ちください」のメッセージが表示され、再生リストに戻ります。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

⑧まだ削除したいファイルがある場合は②～⑦を繰り返します。

※同様に再生の日付からでも削除ができます。削除したい日にちを選択し、上記④～を実行します。

その場合その日一日分の全てのデータが削除されます。

### 再生する その5 パソコンで再生する

パソコンに録画データファイル (.ASF) の入った SD カードを挿入します。

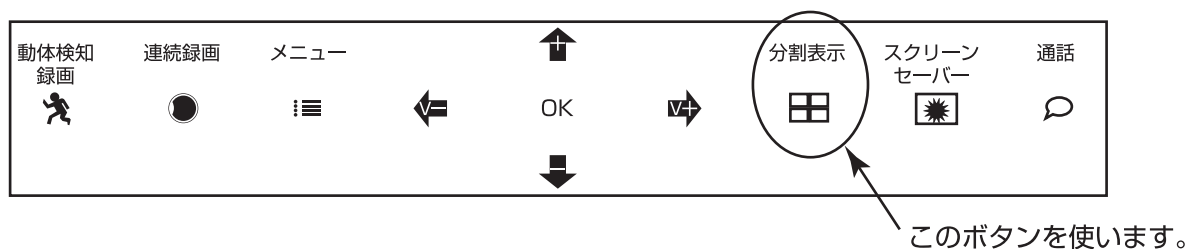
Windows Media Player で開きます。

注意)

- ※操作がないと、約 1 分でライブ映像に切り替わります。
- ※「再生」の画面のみ、操作しない限り自動で切り替わりません。
- ※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。



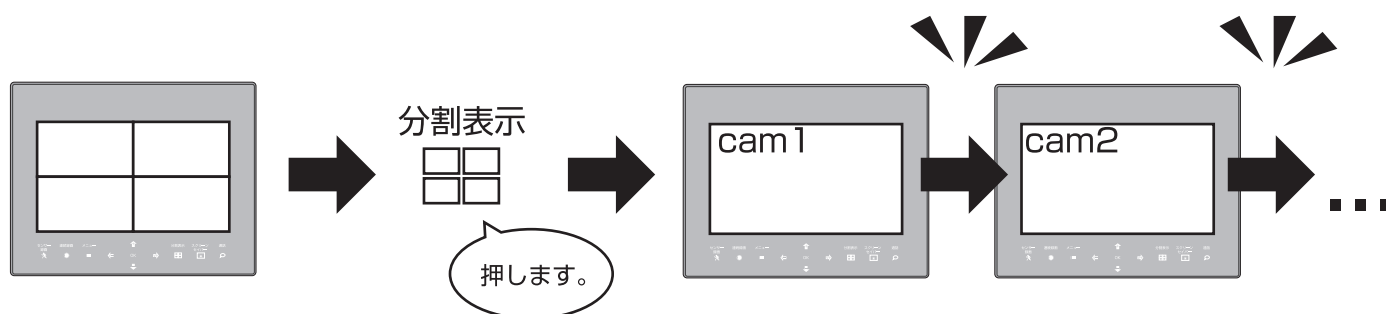
## 分割表示 / シーケンシャル



<シーケンシャルにしたい場合>

4分割または2分割の状態です「分割表示」を押すと、シーケンシャルになります。

※カメラ表示を「オフ」の設定 (P46) の場合、そのカメラはスキップされます。



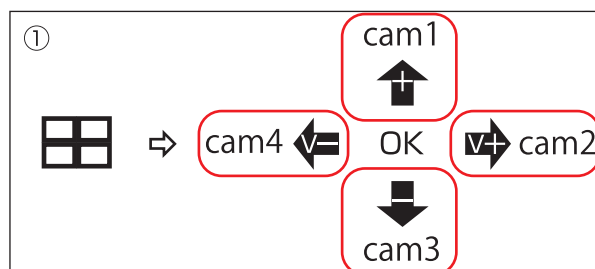
<4分割または2分割表示にしたい場合>

シーケンシャルの状態です「分割表示」を押すと、4分割または2分割になります。

<単画面で固定したい場合>

①一度4分割または2分割の表示にします。

上下左右の矢印を押してカメラ表示を切り替えます。

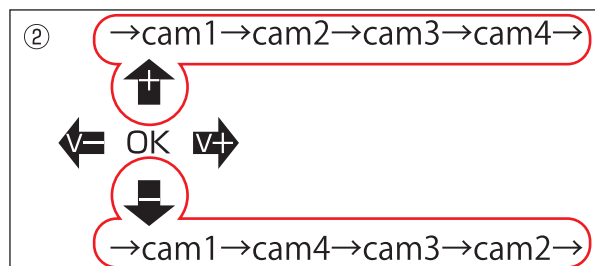


②もしくは、シーケンシャルの状態です「上下矢印」の

ボタンを押して、カメラ表示を順番に切り替え、

単画面にしたいカメラを選択してください。

上矢印で同順、下矢印で逆順に切り替えます。



<分割表示ボタンを押しても4分割または2分割表示にならない場合>

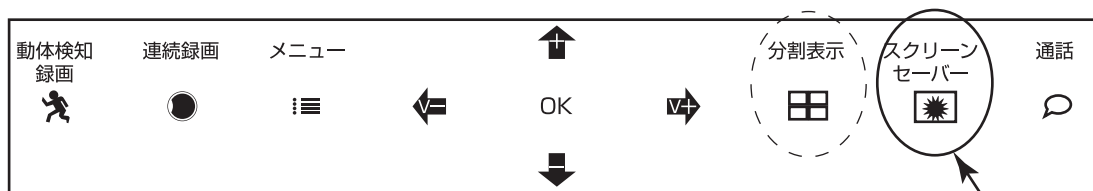
カメラ表示設定で、カメラ表示が「オン」になっているか確認してください。(P46)

注意)

使用していないカメラ番号は、表示を「オフ」にされることをおすすめします。(P46)

## IV. パネル基本操作 6. スクリーンセーバー

### スクリーンセーバー



このボタンを使います。

スクリーンセーバーをします。

スクリーンセーバー中、センサーが働いた時は映像が自動的に表示されます。

そして数秒後、自動でスクリーンセーバーに戻ります。

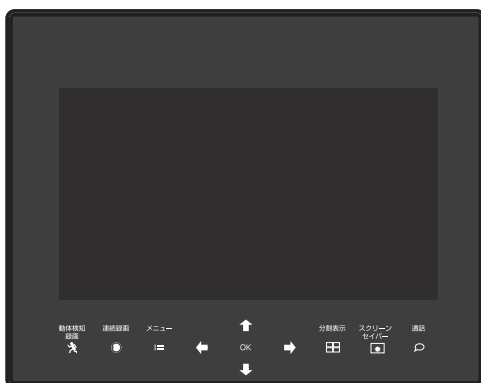
スクリーンセーバーを解除したい場合は、「分割表示」を押して4分割または2分割表示にしてください。

<分割表示ボタンを押しても4分割または2分割表示にならない場合>

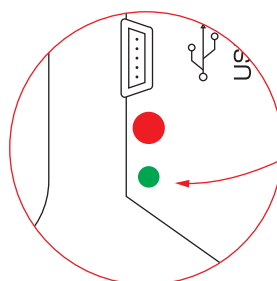
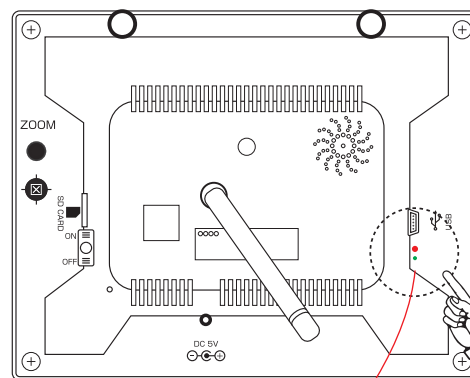
カメラ表示設定で、カメラ表示が「オン」になっているか確認してください。(P46)

スクリーンセーバー中、「カメラ未接続」の表示が出た場合、警報設定中は警報が鳴ります。

<スクリーンセーバー中>



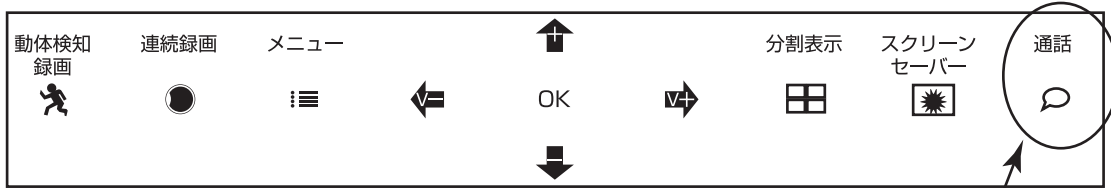
スクリーンセーバー中は、画面が真っ暗になり、本当に電源が入っているのか不安になります。その時はモニター背面のランプをご確認ください。下側の緑色ランプが点灯中ならばスクリーンセーバー起動中です。




このランプ  
(下側)です。

## IV. パネル基本操作 7. 通話

### カメラに向かって話す



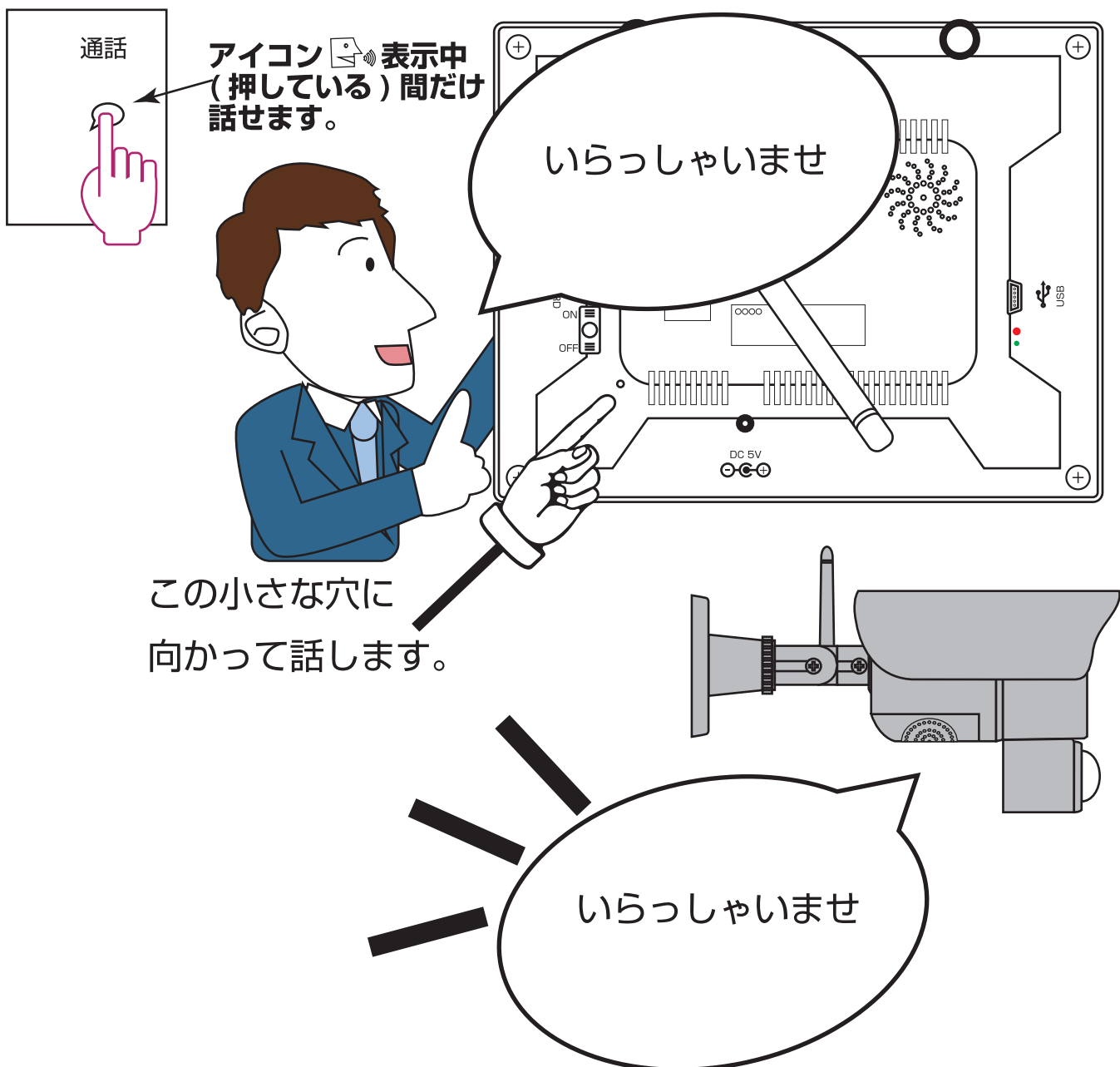
このボタンを使います。

この「通話」ボタンを押すとモニター上に  のアイコンが表示されます。

単画面の時、カメラ側に向かって話す時に使用します。

前面パネルの「通話」アイコンを押している間だけ通話アイコン  が表示されています。

アイコン表示中にマイクに向かってお話しください。(若干タイムラグがあります。)



## トラブルシューティング

症状	原因と対策
フリーズして操作できなくなった	モニターの電源をスライドで切り入りして再起動してください。
モニターにカメラ映像がない	カメラに電源が入っていない場合 1. 文字表示のない黒い画面 カメラの AC アダプタの抜き差しし、モニターの電源をスライドで切り入りして再起動してください。 カメラ表示を「オン」にしてください。(P46) 2. カメラ未接続と表示されている画面 ペアリングに失敗した場合 (P44) 降雨時や降雪時は受信状況が悪くなる場合があります。
受信状況が頻繁に悪くなる	1. 近隣に電波塔や工場、基地等がある場合 2. 電波に干渉を及ぼす機器を使用中の場合
ペアリングができない	モニターをカメラの近くに置き、ペアリングを行ってください。(P44)
夜間の映像が白くなる	設置したカメラの近接物に赤外線が反射していますので、近接物を除去するかカメラの設置場所を変更してください。カメラの表面ガラスの汚れを清掃してください。
映像明暗のちらつき	フリッカー設定がされていない場合 (P29)
モニターから『キーン』や『ピー』などの音がする	ハウリングやノイズを発生する場合があります。機器の故障ではありません。モニターの音量を下げてください。
録画がされていない	1. 再生中は録画されません。 2. SD カードのデータがいっぱいになった場合、上書き録画の設定をしてください。(P43) 連続録画の設定で録画中の場合、SD カードのデータがいっぱいになったら、録画は止まり、録画解除されます。上書き録画設定をして、連続録画のボタンを押してください。(P9⑦,p25) 3. SD カードが挿入されていない場合 SD カードは最大 128GB です。 128GB 以内の SD カードをご使用ください。(推奨：サンディスク社製) 4. 本機器で始めに SD カードをフォーマットしていない場合 (P28) 5. 録画を行いたいカメラの『カメラ表示』がオフになっている場合(P46) 6. 連続録画の設定で録画中の場合、停電が発生したら録画はとまり、録画解除されます。停電復旧時、録画は開始されませんので、手動で連続録画のボタンを押してください。 なお、停電時でも自動で録画を開始したい場合はスケジュール録画の設定をして録画してください。(P35) 動体検知録画ボタンを押しても復旧後動作します。(P24) 7. カメラの AC アダプタの抜き差しをして再起動してください。 8. メニュー→設定→初期化の画面「いいえ」、「はい」の下よりバージョンを確認します。表示されているバージョンが「V0.09-150320」の場合、弊社ホームページ <a href="http://www.n-sk.jp/contact/index.html#soft">http://www.n-sk.jp/contact/index.html#soft</a> より最下方にある「NS-9015WMS」を選択し、最新のバージョンになるようファームウェアアップグレードを行ってください。(P30、P31)

## トラブルシューティング

症状	原因と対策
再生リストが表示されない	カレンダーの画面でカメラ番号がオン(決定)になっていない場合 (P50) ※カメラ番号を設定した後の移動は、必ず「左右矢印」をご使用ください。
再生中に映像が止まったり、再生できない、映像が乱れる	1. 再生を停止して、一度再生リスト画面に戻り、再度そのファイルを選択して、再生してください。 2. メニュー→設定→初期化の画面「いいえ」、「はい」の下のバージョン「V0・xx…」を確認します。「xx」の部分がホームページ掲載の「M904-Vxx.bin」の「xx」より小さい数字の場合は、その最新のファームウェアをダウンロードしてアップグレードを行ってください。データは <a href="https://n-sk.jp/">https://n-sk.jp/</a> 弊社ホームページ最下方 TOPIX「商品アップデート情報」の「NS-9015WMS (アップデート) 情報があります」にあります。 最新のファームウェアをダウンロードしてアップグレードを行ってください。(P30、P31)
時刻がずれる 時刻調整しても時刻が合わない	表示時間は、数か月で若干のずれが生じます。時刻の修正を定期的に行ってください。(P26) 時刻が合わない場合は、カメラの AC アダプタの抜き差しをして再起動してください。 ※複数台設置中の場合、それぞれのカメラの時刻表示にズレが生じることもありますが、ワイヤレスの特性上のため故障ではありません。 ※複数台設置中で、1台のみ大幅にずれていたり、上記の方法を試しても時刻が合わない場合は、カメラの時刻補正機能が故障している場合があります。ご購入店にご相談ください。
動体検知機能が正しく働かない	1. 動体検知録画がオフになっている場合 (P24) 2. 動体検知感度を『高』もしくは『中』に設定してください (P32)
カメラ映像が他のカメラ映像に勝手に切り替わる	シーケンシャル機能になっています (P54)
再生中や、カレンダー検索で固まってしまう。 考え中のマークが、ずーっとぐるぐる回っていて、再生できない。	設定メニューに戻れる場合は、 1. 録画を止めて SD カードの抜き差し 2. ライブ映像より録画中マークの確認 →連続録画ボタンを押す(録画中マークが点滅すれば OK です。) 以上を実行しても改善が見られない場合、SD カードの故障が考えられますので、録画中マークが消えたことを確認して実行してください。パソコンで1度 SD カードをフォーマットしてみてください。それでも改善されない場合は、別のフォーマット済の SD カードでお試してください。 (推奨: サンディスク社製)



### 初期設定の内容

フリッカー	60Hz
モーション録画	15 秒
スケジュール録画	オフ
上書録画	いいえ
警報	オフ
カメラ表示	オン 2 台、オフ 2 台 (初期化後はお客様の設定済みの内容が維持されます)
明るさ	3
解像度	VGA
動体検知	低
日時設定	お客様ご自身で設定していただきます。 (初期化後はお客様の設定済みの内容が維持されます)
ペアリング	カメラ 1 のみ設定済み (初期化後はお客様の設定済みの内容が維持されます)